

# 令和元年度 公益財団法人三重県体育協会事業報告

令和元年度は公益財団法人の広く社会に貢献すべき責務として、県民体力の向上とスポーツ精神の養成を目的とし、三重県、三重県教育委員会及び本協会加盟団体並びに関係団体との連携強化を図りながら、「三重とこわか国体」に向けた諸準備と公益実現に向けた事業に取り組むとともに、法人の基盤となる財源の確保に努め次のとおり諸事業を実施した。

## 1. 事業

### (1) 公益目的事業

#### ア. スポーツ振興事業（公益事業1）

スポーツ団体及びスポーツ指導者の育成事業を展開し、スポーツ愛好者を育てるとともに、青少年の健全な育成や競技水準の向上を図り、県民のスポーツ振興を推進するため以下の事業を行った。

##### (ア) 加盟団体育成強化事業

加盟団体の活動促進

###### a. 加盟団体育成強化費の助成

加盟団体(競技団体・学校体育団体・市町体育（スポーツ）協会)が実施する各種スポーツ振興事業の充実を図るため、加盟団体の組織運営や大会等に係る経費に対し育成強化費を助成した。

###### b. 第13回美し国三重市町対抗駅伝実行委員会への助成

県内スポーツの推進にあたり、ジュニア世代の発掘・育成と、スポーツを「する」「みる」「支える」全ての県民の意識高揚を目的とした当駅伝大会の中で、本協会管理運営施設である、三重交通G スポーツの杜 伊勢で実施される市町交流事業に対して、本協会独自財源により助成を行った。

##### (イ) スポーツ指導者育成事業

###### a. 公認スポーツ指導者の養成

地域スポーツクラブ等において、スポーツに初めて出会う子どもたちや初心者を対象に、競技別の専門的な知識を活かし、個々人の年齢や性別などの対象に合わせた指導にあたりるとともに、スポーツ医・科学の知識を生かし、「スポーツを安全に、正しく、楽しく」指導し、「スポーツの本質的な楽しさ、素晴らしさ」を伝えることができる指導者を養成する講習会を実施した。

###### ① バレーボール（専門科目）

期 間：令和元年8月24日～9月7日（3日間・20時間）

会 場：菰野町民体育センター他

参加者：26名

###### ② スポーツクライミング（専門科目）※独自開催事業

期 間：令和元年6月15日～6月30日（4日間・40時間）

会 場：三重交通G スポーツの杜 鈴鹿他

参加者：7名

- ③ 山岳（専門科目）※独自開催事業  
 期 間：令和元年9月21日～令和2年2月29日（6日間・30時間）  
 会 場：鈴鹿高校他  
 参加者：10名
- ④ 空手道（専門科目）※独自開催事業  
 期 間：令和元年10月27日～令和2年1月19日（4日間・40時間）  
 会 場：扇プラザ  
 参加者：8名

#### b. 県スポーツ指導者研修会の開催

指導者がスポーツに関する最新の知識・情報を獲得し、国民のスポーツに対するニーズを敏感に捉えて、実際の指導場面に活用できるようその資質を向上させるとともに、指導者の情報交換やネットワークづくりなど、相互の交流を目的として研修会を実施した。

①期 日：令和元年6月9日(日)

会 場：津市河芸公民館

参加者：148名

内 容：講演Ⅰ部「障害に応じたスポーツへの導入と対応  
 ～誰でもできる簡単トレーニング～」

講師 滋賀県障がい者スポーツ指導者協議会 増田 圭亮 氏

講演Ⅱ部「パフォーマンスを上げるためのコーチングの技術」

講師 株式会社コーチング・システムズ 稲垣 友仁 氏

②期 日：令和2年2月2日(日)

会 場：松阪市嬉野生涯学習センター 2 F（松阪市嬉野公民館）

参加者：110名

内 容：講演Ⅰ部「名伯楽と偶像

～Legend(伝説)&Performer(役者、演技者)～」

講師 至学館大学 名誉教授

日本体育大学レスリング部女子特別コーチ 杉山 三郎 氏

講演Ⅱ部「頭頸部外傷に対する準備と初期対応 ～ラグビーの現場から～」

講師 尾池整形外科

日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 福田 圭吾 氏

#### c. 県スポーツ指導者協議会の充実

本県スポーツ指導者の資質向上と相互連携を促進するため、県内各地域においてスポーツ指導者の活用を行うため諸事業を展開した。

- ・全国指導者連絡会議への参加 出席者1名
- ・指導者全国研修会への参加 出席者2名
- ・指導者の登録管理

#### (ウ) 青少年スポーツ育成事業

##### a. スポーツ少年団の育成強化

スポーツ少年団組織の基盤となる団員、指導者の登録を推進し、組織の充実と指導者の資質向上のための講習会の開催と、スポーツ少年団活動の基礎となるスポーツ少年大会等(全国・東海・県内交流)への参加と事業を実施した。

##### b. 国際交流

国際交流によりグローバルな視点で団活動を捉えることを目的とし、また相互交流により地域での活発化を図るため、第46回日独スポーツ少年団同時交流事業として本県より1名の指導者と3名の団員を派遣し、ドイツスポーツユーゲントから10名を受け入れた。

c. 県内交流

県内スポーツ少年団の交歓として、県スポーツ少年大会・競技別交流大会・地域交歓会を開催し、スポーツ少年大会と地域交歓会では、団の枠を超えて交流の輪を深め、また競技別交流大会では、日頃の活動で培った技術を発揮し交流の輪を深めた。

d. 指導者養成

指導者の資質向上により、更に充実した活動が行えるよう認定員養成講習会を県内5会場で開催したほか、将来の指導者を育成するシニア・リーダースクールへの派遣とジュニア・リーダー養成事業等を実施し、指導活動の強化と指導者の育成事業の促進を行った。

e. スポーツ少年団登録状況

登録少年団数	619団	・29市町	(昨年比 14団減)
登録指導者数	3,531名		(昨年比 65名増)
登録団員数	12,212名		(昨年比 619名減)

f. 事業の内容等

・日独同時交流事業

① 派遣

- ・派遣期間 令和元年7月31日～8月17日
- ・本県派遣者 指導者1名、団員3名

② 受入

- ・受入期間 令和元年7月29日～8月2日までの4泊5日間、明和町において受け入れた。
- ・受入人員 ドイツ・ヴェルテンベルグスポーツユース指導者1名、団員9名
- ・行動内容 民泊家庭における生活体験、地元スポーツ少年団等とのスポーツ交流他

・各種スポーツ少年大会

事業名	開催地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
第57回全国スポーツ少年大会	長崎県・県立佐世保青少年の天地	8/1～4	1名	5名	
第41回全国スポーツ少年団軟式野球交流大会	兵庫県・県立淡路佐野運動公園	8/2～5	5名	13名	東海ブロック大会敗退
第42回全国スポーツ少年団剣道交流大会	長野県・真島総合スポーツアリーナ	R2.3/27～29	中止		
第17回全国スポーツ少年団バレーボール交流大会	岐阜県・岐阜メモリアルセンター	R2.3/27～30	中止		
第50回東海ブロックスポーツ少年大会	愛知県・愛知県野外教育センター	8/22～24	4名	14名	
第31回東海ブロックスポーツ少年団競技別交流大会					
軟式野球	静岡県・島田球場	6/8	5名	14名	
ソフトボール競技	三重県・鈴鹿川河川緑地運動施設	11/17	4名	15名	
サッカー競技	静岡県・浜北平口サッカー場	12/22	3名	18名	
バレーボール競技	岐阜県・岐阜メモリアルセンター	12/14	2名	8名	

三重県スポーツ少年団 競技別交流大会	ダイムスタジアム伊勢他	4/27.28		16チーム	軟式野球
	三重県営サンアリーナ	6/9		53チーム	バドミントン
	鈴鹿川河川緑地グラウンド	8/4		31チーム	ソフトボール
	三重交通G スポーツの杜 鈴鹿	10/5		576名	剣道
	三重県立鳥羽高等学校他	12/1、8		57チーム	バレーボール
	東員町総合体育館他	12/1		16チーム	ミニバスケットボール
	津市久居体育館	12/1		26チーム	卓球
サオリーナ	R2.1/13		224名	柔道	
第50回三重県スポーツ少年大会	三重県立ゆめドームうえの	8/3		161名	

#### ・指導者養成

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
東海ブロックスポーツ少年団 指導者研究協議会	愛知県・アイリス愛知	11/23～24	10名		
認定員養成講習会	津市芸濃総合文化センター	8/31～9/1	62名		
	明和町中央公民館	9/14～15	30名		
	東員町保健福祉センター	11/9～10	43名		
	熊野市立有馬中学校	12/7～8	11名		
	伊勢市生涯学習センター	R2.1/18～19	30名		
三重県立鈴鹿青少年センター	R2.1/25～26	77名			
母集団育成事業	三重県営サンアリーナ	5/11	120名		

#### ・リーダー養成

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者	団員	
日本スポーツ少年団 シニア・リーダースクール	国立中央青少年交流の家	8/8～12	—	1名	
ジュニア・リーダースクール	三重県・三重県立鈴鹿青少年センター	7/13～14	11名	17名	
ジュニア・リーダー研修会	三重県・三重県立鈴鹿青少年センター	11/9～10	9名	18名	
東海ブロックスポーツ少年団 リーダー研究大会	岐阜県・岐阜メモリアルセンター	R2.3/7～8	中止		

#### ・地域活動の促進

事業名	会場地	期日	参加者数		備考
			指導者・団員		
地域交歓会	東員町総合体育館	R2.1/19	106名		桑員
	アソビックスあさひ ボウリング場	R2.1/12	132名		三四
	三重県営鈴鹿青少年の森	R2.2/2	590名		鈴亀
	サオリーナ	11/9	245名		津
	松阪市サンパークレーン		中止		松阪多気
	三重県営サンアリーナ	6/8	538名		伊勢度会
	鳥羽高等学校他	9/1.8	291名		鳥羽志摩
	ヒルホテルサンピア伊賀 スケート場	2/4.7	210名		伊賀・名張
	尾鷲市体育文化会館	12/15	66名		尾鷲北牟婁
	寺谷総合公園 多目的グラウンド他	11/10.17	557名		熊野南牟婁
9ブロック (1ブロック中止)			2,735名		

#### (エ) 総合型地域スポーツクラブ育成推進事業

生涯スポーツ社会の早期実現のため、地域住民の身近なスポーツ活動の場として期待さ

れる総合型クラブを育成し、地域住民による自主的・自発的な総合型クラブの組織化及び定着化に向けた支援を行った。

また、令和3年度より導入される総合型地域スポーツクラブの登録・認証制度の整備、中間支援組織についての整備に向けた取組を行った。

#### a.SCみえネットワーク代表者会議の開催

総合型クラブの定着・発展のため、設立した総合型クラブ関係者を対象にクラブ運営に関わる情報交換・協議や総合型クラブ間の交流事業を行うSCみえネットワーク正副会長会議を開催した。

なお、令和2年3月に開催を予定していたSCみえネットワーク代表者会議は新型コロナウイルス感染拡大防止対応により中止した。

正副会長会議：令和元年6月20日 三重県体育協会事務局 会議室 出席者 5名

#### b.クラブミーティングの開催

クラブ間の情報交換等を行うことにより、県内各地の総合型クラブの連携・強化やクラブマネージャー等、クラブ関係者の資質向上を図る会議をみえ広域スポーツセンターと連携し、5会場で実施した。

(a)北ブロック	：令和元年8月28日	四日市中央緑地体育館	参加者35名
(b)中ブロック	：令和元年8月17日	安濃中央総合公園体育館	参加者31名
(c)南勢志摩ブロック	：令和元年8月26日	三重交通G スポーツの杜 伊勢	参加者30名
(d)伊賀ブロック	：令和元年8月12日	三重県立ゆめドームうえの	参加者17名
(e)東紀州ブロック	：令和元年8月16日	東長島スポーツ公園	参加者15名

### (オ) スポーツ医・科学研究調査事業

#### a.国体選手の健康管理に関する調査・研究

本県国体参加選手392名（受診者397名(交代選手含む)）に対してメディカルチェックを行うことで、その実施結果を分析し、選手・指導者に助言することでスポーツ活動中の事故防止に努めた。

#### b.スポーツ医・科学調査研究事業

選手に対する指導法及び健康管理について、医学・科学面の専門家と学識経験者及び現場指導者からなるスポーツ医・科学委員会を設置し、医・科学的な選手強化研究に取り組んだ。

スポーツ医・科学委員会の委員を中心に結成した実行委員会は、スポーツ医学・薬学班、体力科学班、スポーツ心理学班、コーチング・マネジメント班、スポーツ栄養学班に分かれ、指定選手の調査研究事業を進めながら、研究成果を指導者等にフィードバックするため、スポーツ医・科学セミナーを開催し、その成果報告書として「スポーツ医・科学研究MIE第27巻」を発行した。

- ・調査研究対象:三重県フェンシング協会（ジュニア選手）(3年目/最終年)
- ・第27回三重県スポーツ医・科学セミナー 兼 スポーツ指導者研修会の開催  
開催期日：令和2年1月23日（木）  
場 所：三重県男女共同参画センター多目的ホール（三重県総合文化センター内）  
参 加 者：229名（内、ドクター4名、公認スポーツ指導員172名、競技団体関係者他 53名）  
内 容：情報提供 大塚製薬株式会社  
第1部 講演「女性アスリートのコンディショニング」  
講 師 鯉川なつえ氏 順天堂大学 スポーツ健康科学部 教授  
第2部 講演「最高のパフォーマンスは口の健康管理から ～スポーツ歯科学入門～」  
講 師 蛭川 幸史氏 （公社）三重県歯科医師会 理事

#### c.国体選手を中心としたドーピング防止教育・啓発事業

国体選手・監督を中心にドーピング教育・啓発活動を実施し、薬物の乱用・誤用に対

する認識を高めることにより、健全なスポーツ活動の推進を目的として、ドーピング講習会を実施した。

期 日：令和元年9月19日（木）

会 場：三重県総合文化センター内 文化会館1F「レセプションルーム」

参加者：国体監督（46名）及び本部役員（15名） 計61名

講 師：福田 亜紀氏（スポーツ医・科学委員長）、  
山本 将之氏（スポーツ医・科学委員）、米川由起子氏（三重県薬剤師会）

#### d.派遣事業

##### ①第74回国民体育大会ドクターズ・ミーティングへの参加

期 日：令和元年9月27日（金） 茨城県水戸市

派遣者数：スポーツドクター 1名、スポーツファーマシスト 2名、  
スポーツデンティスト 1名、アスレティックトレーナー1名

##### ②第74回国民体育大会本県選手団本部役員（帯同ドクター）活動

期 日：令和元年9月28日（土）～10月7日（月）茨城県内

派遣者数：公認スポーツドクター 5名

##### ③第75回国民体育大会スケート競技会本県選手団本部役員（帯同ドクター）活動

期 日：令和2年1月29日（水）～2月2日（日）青森県八戸市

派遣者数：公認スポーツドクター 1名

##### ④第75回国民体育大会スキー競技会本県選手団本部役員（帯同ドクター）活動

期 日：令和2年2月16日（日）～2月18日（火）富山県南砺市

派遣者数：公認スポーツドクター 1名

##### ⑤スポーツドクター代表者協議会（中止）

期 日：令和2年3月7日（土）東京都

派遣者数：（※新型コロナウイルス感染拡大防止対応により中止）

#### （カ）選手育成強化事業

各競技団体が実施する選手の強化、ジュニア選手の発掘・育成、指導者の養成、スポーツ医・科学専門家の活用とスポーツ指導員の配置と指導者養成のための研修会を実施し、国内外の大会で活躍できる選手を養成することで、競技力向上を効果的に推進した。

また、女性アスリートが活動しやすい環境を整えるため、女性アスリートサポート事業とトップアスリート等就職支援事業を推進した。

##### a 競技力向上対策事業

###### (a) 女性アスリートサポート

女性アスリート及び指導者の研修会を開催し、女性アスリートが抱える諸問題について実態を把握するとともに、継続して競技に取り組むための調査・研究を行った。

また、女性スポーツをサポートする研修会にみえ女性スポーツ指導者の会から5名（延べ）を派遣し情報収集を行った。

・第1回研修会 令和元年 8月 7日（水） 講師：内藤 貴雄氏

・第2回研修会 令和元年10月26日（土） 講師：佐藤 圭太氏

###### (b) スポーツ指導員・ディレクター配置

全国・国際スポーツ大会等で活躍する現役の成年選手を、年間を通して指導現場に派遣することで、ジュニア・少年選手の競技力向上を図るとともに、競技力向上の中核を担う指導者の資質向上を図った。

また、成年種目の戦力補強を計画的な推進を図るために、全国・国際スポーツ大会で活躍実績の指導者をディレクターとして競技団体に配置した。

スポーツ指導員配置競技：

陸上競技、水泳（飛込、OWS）、サッカー、テニス、ボート、ホッケー、バスケットボール、ウエイトリフティング、自転車、ソフトテニス、卓球、柔道、ソフトボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、ボウリング、トライアスロン、スケート、スキー 計40名

ディレクター配置競技：

水泳（競泳、水球）、テニス、カヌー、スケート、ラグビーフットボール 計6名

## b. チームみえジュニア育成事業

### (a) ジュニア育成

年間を通じて将来有望な高校1年生以下のジュニア選手を中心に、各競技団体(39競技種目)が育成を行い、長期的に競技力向上を目指すため、以下の事業を実施した。

- ・ 日常練習の実施（25競技種目）
- ・ 合宿練習の実施（31競技種目）

### (b) ジュニアクラブ・運動部強化指定

三重県競技力向上対策本部において強化指定クラブ及び強化指定運動部として決定された県内の12のジュニアクラブと2の中学校運動部に対し、全国大会等で活躍するための強化活動の支援を行い、重点的な競技力向上を図った。

- ・ 多気町松阪市学校組合立多気中学校陸上競技部
- ・ 三重ダイビングクラブ
- ・ みえA.S.C
- ・ 三重グリーンテニスクラブ
- ・ 宮川ボートクラブ
- ・ 相好体操クラブ
- ・ いなベレスリングクラブ
- ・ みえウエイトリフティングジュニアクラブ
- ・ 度会町立度会中学校ソフトボール部
- ・ 松生TTC
- ・ 津相撲クラブ
- ・ 鳥羽フェンシングクラブ
- ・ KO-WALL三重
- ・ 鈴鹿ジュニアボウリングクラブ

### (c) ジュニア体験会の啓発

カヌースプリント、飛込、水球、アーティスティックスイミング、アーチェリー、ウエイトリフティング、セーリング、フェンシング、ボート、相撲、自転車競技、ボクシング、ライフル射撃の13競技種目のスポーツ体験会のチラシを作成し、体験会実施市町の小学校及び中学校に配布して競技体験への啓発を行った。

### (d) スポーツ少年団育成

県内で活動するスポーツ少年団において、団員の育成及び指導者の資質向上を目的とした研修会を実施した。

期日：令和元年12月1日（日） 菰野町町民センター

内容：講義「ACP（アクティブ・チャルド・プログラム）は日本を救う！  
—子どものこころとからだを育む幼児期からの運動遊び—」

講師 吉田 繁敬 氏（アイ・プラス株式会社 代表取締役）

## c. チームみえ国体選手強化事業

競技団体が実施する、国民体育大会に向けた強化活動を年間通じて支援した。

実施競技：41競技(49種目)

## (キ) 国体準備事業

### 2019年度三重とこわか国体競技役員養成事業

#### a. 競技役員等養成事業の実施

競技役員等の資格取得、資格維持や資質向上を図るため、三重とこわか国体に従事する見込みの者に対して次の事業を実施した。

- ・ 中央講習会等派遣事業

- ・ 県内講習会等開催事業

b.開催競技に係る県競技団体における開催準備の推進と大会運営能力の強化を図るため、開催準備活動事業を実施した。

## (ク)職業紹介事業

トップアスリート等就職支援

令和3年に本県で開催する国民体育大会での天皇杯・皇后杯の獲得を目指すとともに、大会終了後も安定した競技力を確保するため、全国・国際スポーツ大会で活躍するトップアスリートの就職支援を行う事業として、県内の企業・事業所へ打診し、説明及び採用への協力依頼を行った。

- ・ 活動実績 191の企業・事業所
- ・ 就職内定実績 91名

### a. トップアスリート採用企業 事例紹介ミーティングの実施

トップアスリートと受入れ側の企業・団体とがWin・Winとなる関係を明らかにし、今後の選手採用の県内企業採用促進に寄与することを目的として実施した。

ミーティング終了後は、記録を作成し、ホームページへ掲載するとともに、協力企業・団体及び競技団体への配布を行った。

期 日：令和元年11月28日（木）

場 所：プラザ洞津（津市）

参加数：106名（内訳：協力企業60名、競技団体11名、報道関係2名、発表者4名、県体育協会10名、三重県19名）

内 容：事業概要説明

企業事例発表① チョダウーテ株式会社

取締役常務執行役員 管理本部長 種田 貴志 氏

企業事例発表② 上野ガス株式会社・上野都市ガス株式会社

代表取締役社長 中井 茂平 氏

選手事例発表① あづまフーズ株式会社 河野 隆太 氏

選手事例発表② 伊賀上野ケーブルテレビ株式会社 梶田ひかる 氏

応援企業認定証交付式

## (ケ) 国民体育大会等の派遣・開催事業

### a.国民体育大会東海ブロック大会

#### ①国民体育大会第40回東海ブロック大会

競 技：31競技

期 間：令和元年5月25日（土）～ 9月1日（日）

場 所：三重県内及び岐阜県

参加数：3,071名（内、本県選手団 768名）

本県予選通過 21競技41種別（種目）

※別紙第40回東海ブロック大会成績一覧表参照（馬術：自馬競技の4県枠除く）

#### ②第75回国民体育大会冬季大会アイスホッケー競技会 北信越・東海ブロック予選会（成年の部）

期 間：令和元年12月20日（金）～22日（日）

場 所：「日本ガイシアリーナ」

参加数：25名

【ブロック代表獲得県】 本大会出場県：愛知県、新潟県、長野県、石川県



b.第74回国民体育大会

期 間：本大会 令和元年9月28日（土）～10月8日（火）

但し、水泳・バレーボール（ビーチバレーボール）・体操競技会は、  
令和元年9月7日（土）～ 9月16日（月）

場 所：茨城県

参加者：三重県選手団 470名

成 績：男女総合（天皇杯） 14位・1,181.5点（第74回冬・本大会）

女子総合（皇后杯） 20位・ 619.0点（第74回冬・本大会）

競技別成績（天皇杯）

第74回国民体育大会男女総合成績競技別一覧（入賞競技28）

競技順位	競 技 名	競技得点	参加点	合 計
2	テニス	63.0	10.0	73.0
2	ウエイトリフティング	81.0	10.0	91.0
5	サッカー	64.0	10.0	74.0
5	アーチェリー	27.0	10.0	37.0
6	セーリング	33.0	10.0	43.0
6	ラグビーフットボール	40.0	10.0	50.0
6	ボウリング	43.0	10.0	53.0
8	ハンドボール	37.5	10.0	47.5
8	馬術	37.0	10.0	47.0
8	フェンシング	24.0	10.0	34.0
10	レスリング	36.0	10.0	46.0
10	ソフトテニス	30.0	10.0	40.0
10	弓道	33.0	10.0	43.0
12	陸上競技	63.0	10.0	73.0
13	体操	15.0	10.0	25.0
14	卓球	7.5	10.0	17.5
14	ソフトボール	20.0	10.0	30.0
15	剣道	12.5	10.0	22.5
15	スキー	7.0	10.0	17.0
17	スポーツクライミング	18.0	10.0	28.0
18	空手道	6.0	10.0	16.0
18	なぎなた	3.0	10.0	13.0
20	水泳	38.5	10.0	48.5
23	スケート	10.0	10.0	20.0
27	カヌー	18.0	10.0	28.0
28	ボクシング	2.5	10.0	12.5
29	ライフル射撃	7.0	10.0	17.0
30	自転車競技	5.0	10.0	15.0
小計	28 競技	781.5	280.0	1,061.5
	他 12 競技		120.0	120.0
14 位	40 競技	781.5	400.0	1,181.5

c.第75回国民体育大会冬季大会

スケート・アイスホッケー競技会

期 間：令和2年1月29日（水）～ 2月2日（日）

場 所：青森県（八戸市）

参加者：三重県選手団 11名（スケート競技会のみ参加）

成 績：男女総合（天皇杯） 26位・計 30.0点

（スケート・アイスホッケー競技会小計）

スキー競技会

期 間：令和2年2月16日（日）～ 19日（水）

場 所：富山県（南砺市）

参加者：三重県選手団 31名

成 績：男女総合（天皇杯） 11位・計24.0点（スキー競技会小計）

## （コ）スポーツ顕彰事業

令和元年度（公財）三重県体育協会表彰式の実施  
第74回国民体育大会及び令和元年（暦年）に各種競技会で活躍した選手・監督（個人）を表彰した。

(a) 国民体育大会賞（別記名簿参照）

選手、監督 221名

表彰式 令和元年12月10日（火） プラザ洞津 2階「飛翔の間」

(b) 体育協会表彰

表彰式 令和2年2月19日（水） 津センターパレスホール

・ 体育功労者 1名

・ 特別優秀選手及び特別優秀監督、特別優秀チーム 9名、1チーム

・ 優秀選手及び優秀監督、優秀チーム（別記名簿参照） 111名、6チーム

・ スポーツ優良団体 3団体

※平成13年度から本協会表彰と三重県スポーツ賞表彰を、平成30年度より三重県障がい者スポーツ協会表彰と合同で実施している。

## （サ）スポーツ安全保険普及事業

公益財団法人スポーツ安全協会の委託を受けて、スポーツ及び社会教育活動に伴う傷害事故、賠償責任事故の補償を行うスポーツ安全保険の加入を促進し、加入者が安心して活動ができるようにするとともに、これら活動グループの育成及び円滑化を図った。

a. スポーツ安全保険加入促進事業

スポーツ安全保険の加入受付及び手続きを行った。総加入数：134,389名（昨年度比：▲1,831名）

b. スポーツ活動等の普及奨励及び事故防止の推進事業

スポーツ安全保険の普及啓発のため、市町等関係機関へ広報グッズ（文具）を配布するとともに、市町広報紙への掲載依頼及び「スポーツ活動等の安全指導・事故防止に関するセミナー」を開催した。

① 事業名：2019年度「安全指導・事故防止講習会」

期 日：令和元年6月15日（土）

参加者数：16名 会場：松阪市飯高地域振興局2階会議室、上流櫛田川の瀬

② 事業名：第2回Mie Football Medical Conference

期 日：令和2年1月25日（土）

参加者数：約80名 会場：鈴鹿医療科学大学 白子キャンパス

## （シ）加盟団体との連携強化

第17回三重県スポーツ人の集い

2021年に開催が決定した、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」に向け、本県スポーツに携わる関係者が一丸となって相互理解と連携を深め、本県のスポーツ推進を図ることを目的として懇談会を実施した。

期 日：令和2年2月19日(水)  
 会 場：都シティ津  
 参 加 者：209名

### ○各種競技会への協力

期 日	後援した大会名	開催地
4月21日	第33回三重県なぎなた選手権大会兼三重県知事杯第6回三重県小・中学生なぎなた選手権大会	鈴鹿市
5月5日・5月6日	第16回世界ソフトテニス選手権大会日本代表選手予選会	四日市市
5月6日	2019三重県ダンススポーツ選手権大会	鈴鹿市
5月12日	第28回三重県武術太極拳フェスティバル	桑名市
5月12日	平成31(令和元)年度三重県中学生学校対抗ソフトテニス大会	鈴鹿市
5月18日	第22回三重県障がい者スポーツ大会 フライングディスク	津市
5月20日～24日	第68回中部大学・第67回中部学生バドミントン選手権大会	伊勢市
5月25日	第50回記念全国ママさんバレーボール大会三重県予選	津市
5月26日	第19回全国障害者スポーツ大会北信越・東海ブロックバレーボール競技(知的障害の部)	津市
5月31日～6月2日	第69回三重県高等学校総合体育大会	県内各地
6月16日	第18回東海マスターズ陸上競技選手権大会	伊勢市
6月16日	令和元年度三重県中学生ソフトテニス選手権大会	鈴鹿市
6月30日～11月17日	令和元年度三重県中学校総合体育大会	県内各地
7月13日・14日	内閣総理大臣杯第36回全日本世代交流ゲートボール大会	四日市市
7月27日～29日	日本ソフトボール協会創立70周年記念 第59回全日本実業団女子ソフトボール選手権大会	明和町
8月6日～10日	第41回東海中学校総合体育大会	東海4県
8月10日～13日	第49回中部日本地区選抜中学軟式野球大会	名古屋市
8月16日・17日	日本スポーツマスターズ2019軟式野球競技東海大会	鳥羽市
8月19日	第34回三重県ゲートボール選手権大会中日新聞社争奪ゲートボール大会	松阪市
8月19日	第15回三重テレビジュニアゴルフ大会	鈴鹿市
8月31日・9月1日	第71回中部日本卓球選手権大会(カデット・ホープス・カブの部)	津市
9月11日・12日・17日	ソニー生命カップ第41回全国レディーステニス大会	鈴鹿市
9月16日	第12回和道会三重県空手道競技大会	四日市市
9月22日	第一三共ヘルスケア・レディース2019・第31回東海ブロック卓球大会	津市
10月4日～6日	第67回全日本実業団弓道大会・第39回全日本実業団弓道遠大会	伊勢市
10月22日	令和元年度三重県中学生新人ソフトテニス選手権大会	鈴鹿市
10月26日・11月2日・ 30日・12月15日・1月 19日・2月1日	第22回三重県障がい者スポーツ大会	鈴鹿市 津市 伊勢市

10月27日	2019四日市サイクル・スポーツ・フェスティバル「第15回全国ジュニア自転車競技大会」	四日市市
11月16日	2019年度障害者スポーツ振興事業「地域における障がい者スポーツの振興事業」三重県障がい者スポーツフェスティバル2019	伊勢市
11月16日・17日	第21回オールマスターズスイミングフェスティバルin三重	鈴鹿市
11月23日	第23回コカ・コーラボトラーズジャパンジャパングラウンドカップ三重県ママさんバレーボール大会	伊賀市
12月8日	第33回三重県綱引選手権大会(全国綱引選手権大会選抜)	津市
12月14日	三重・水泳の集い2019	四日市市
12月22日	第14回東海地区中学生弓道選手権大会	名古屋市
1月13日・18日	第44回三重県ママさんバレーボール決勝大会	津市
1月19日	令和元年度第4回三重県スポーツ理学療法セミナー	鈴鹿市
1月26日	令和元年度第11回三重県知事杯ジュニアソフトテニスシングルス選手権大会	鈴鹿市
1月31日・2月1日	第37回全日本実業団都市対抗ボウリング選手権大会	津市
2月9日	第29回三重県青少年銃剣道大会	伊勢市
2月9日	第3回中高生・市民のためのスポーツ心理学入門講座	鈴鹿市
2月15日・16日	ダンロップカップ全日本女子団体選抜ソフトテニス大会	四日市市
2月15日・16日・29日 3月1日	三笠宮賜杯第68回中部日本スケート競技・アイスホッケー競技大会	長野県 愛知県
3月1日	第16回アーニモン新体操クラブ演技発表会	四日市市
3月15日	令和元年度・指導者スキルアップセミナー「人を惹きつける指導者になるために」	津市

## イ. 施設利用促進事業（公益事業2）

指定管理者の指定を受けて管理運営する、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)及び三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場)は第三期指定期間、三重県営松阪野球場においては第一期指定期間が終了し、引き続き令和元年度から令和5年度までの再指定を受け、1か年の指定管理期間が終了した。

また、三重県立鈴鹿青少年センターについては、平成30年度から令和4年度までの再指定を受け、第四期指定管理期間の2か年が終了した。

各施設においては、これまで培ったノウハウを活かし利用拡大を図るとともに、県の中核施設としての使命を果たすべく、関係団体と利用調整を通じて大会等の円滑な運営を行った。さらには、地域に根ざしたスポーツ・生涯学習の拠点施設として、施設の特徴を活かし、利用者ニーズに応じた多種多様なスポーツプログラムや生涯学習及び体験型プログラムを提供した。

県民に施設を知ってもらうため、施設名称を冠した主催大会と無料開放イベント等を開催し、地域に愛される施設運営を心がけ、利用者の増員に向けた取り組みを行った。

- a. 鈴鹿スポーツガーデン施設利用促進事業 詳細資料（別添）
- b. 総合競技場施設利用促進事業 詳細資料（別添）
- c. 鈴鹿青少年センター施設利用促進事業 詳細資料（別添）
- d. スポーツマンハウス鈴鹿施設利用促進事業 詳細資料（別添）

本協会が保有する当施設の10年目の運營業務は、安心・安全で利用しやすい宿泊施設を目指し、旅行代理店の仲介及びウェブサイト予約による集客を図るとともに、スポーツマンハウスの設置目的である鈴鹿スポーツガーデンでの合宿、サークル、ゼミ等での利用者へのニーズに応える宿泊施設としての利用を促進するため、「合宿プラン」、宴会利用者への「宿泊&お泊りプラン」、温泉と昼食(夕食)がセットになった「宴会日帰りプラン」の3つのプランを実施した。

広報活動として、過去に利用された大学等へのダイレクトメールに加えて、地域のフリーペーパーに鈴鹿スポーツガーデンと合わせて利用広告を掲載し、近隣の利用者の掘り起こしを進めた。また、本協会の加盟団体にパンフレットを送付し、利用の呼びかけをおこなった。

詳細資料（別添）

e. 松阪野球場施設利用促進事業 詳細資料（別添）

## （2）収益事業

### スポーツ施設等の利便性を向上させる事業（収益事業1）

#### a. 自動販売機設置事業

本協会の自己財源確保と施設利用者への利便を図るとともに、指定管理者として指定を受けた施設（鈴鹿スポーツガーデン、総合競技場、鈴鹿青少年センター、松阪野球場）のサービス向上のために自動販売機設置事業を行った。

### スポーツ振興事業を実施するための財源を確保する事業（収益事業2）

#### b. 広告事業

本協会の公益目的事業を実施するにあたり、安定的かつ恒常的に財源の確保を得るため、広告事業を実施し、本協会のホームページへバナー広告掲載を募り、3事業者からの申込みがあった。

### スポーツ振興事業を実施するための財源を確保する事業（収益事業3）

#### c. 太陽光発電事業

本協会の公益目的事業を実施するにあたり、安定的かつ恒常的に財源の確保を得るため、スポーツマンハウス鈴鹿の屋上を利用し、太陽光発電のため株式会社電律に施設屋根貸を行った。



○数字は通過順位を示す

(注1) 各県欄の数字は順位。○数字が代表権獲得県。

(注2) 15 馬術：自馬競技は、国体への出場選手数を代表数として計算。

No.	競技名	種別	種目	選手数	参考前年	代表	愛知	静岡	岐阜	三重	
25	カヌー	成年男子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	4	3	②
			C-1(カナディアンス)	1	2	→	2	②	—	3	①
			スラローム(カヤックS)	1	2	→	2	4	3	①	②
			スラローム(カナディアンス)	1	1	→	1	3	—	①	2
			ワイルドウォーター	1	1	→	1	—	—	①	2
		成年女子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	①	—	—	②
			C-1(カナディアンス)	1	1	→	1	2	—	—	①
			スラローム(カヤックS)	1	2	→	2	①	—	3	②
			スラローム(カナディアンス)	1	1	→	1	①	—	—	—
			ワイルドウォーター	1	1	→	1	—	—	①	2
		少年男子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	②	①	3	4
			K-2(カヤックP)	2	1	→	1	①	4	3	2
			K-4(カヤックF)	4	1	→	1	①	2	3	4
			C-1(カナディアンス)	1	2	→	2	①	4	3	②
		少年女子	K-1(カヤックS)	1	2	→	2	—	3	②	①
K-2(カヤックP)	2		1	→	1	①	4	3	2		
26	アーチェリー	成年男子	3	1	→	2	①	②	4	3	
		成年女子	3	1	→	2	4	3	①	②	
		少年男子	3	2	→	1	3	2	4	①	
		少年女子	3	2	→	1	4	3	①	2	
27	空手道	成年男子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		形	1	2	→	2	①	3	②	4	
		成年女子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		形	1	2	→	2	②	3	①	4	
27	空手道	少年男子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		形	1		→	2	②	①	3	4	
		少年女子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		形		2	→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
28	銃剣道	成年男子									
		少年男子									
29	クレール射撃	トラップ			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		スキート	6	3	→	3	②	③	①	4	
30	なぎなた	成年女子	演技・試合		→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		少年女子	演技 試合	3	3	→	3	②	4	③	①
31	ボウリング	成年男子		4	2	→	2	①	②	4	3
		成年女子		4	2	→	2	4	②	3	①
		少年男子		2	3	→	3	①	4	②	③
		少年女子		2	3	→	3	①	②	③	4
32	ゴルフ	成年男子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		女子			→		ストレート	ストレート	ストレート	ストレート	
		少年男子	3	2	→	2	①	②	3	4	
小計③				62	56		55	21	8	13	13
合計(①+②+③)				689	195		199	77	34	47	41

※東海大会を実施しない競技→陸上、水泳(競泳、飛込)、レスリング、セーリング、自転車、相撲

※15 馬術： 自馬競技代表数内訳					
	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
成年男子 代表数	7	1	3	1	2
成年女子 代表数	5	1	2	1	1
少年 代表数	6	1	3	1	1
小計	18	3	8	3	4

総計 (合計+※15 馬術)	代表	愛知	静岡	岐阜	三重
	217	80	42	50	45

【通過数及び出場枠占有率】

	1位(突破率)		2位(突破率)		3位(突破率)		合計(突破率)	
愛知県	56	46%	19	30%	2	17%	77	39%
静岡県	19	15%	11	17%	4	33%	34	17%
岐阜県	27	22%	17	27%	3	25%	47	24%
三重県	21	17%	17	27%	3	25%	41	21%
合計	199種別						(馬術:自馬競技の4県枠除く)	

【通過数の内訳】

	成年男子			成年女子			少年男子			少年女子		
愛知県	①通過	14	37%	13	18	38%	14	23	41%	15	17	39%
	②通過	4		5		9	2	10	18%	1	1	
	③通過	0		0		0						
静岡県	①通過	7	21%	4	7	15%	6	10	18%	2	6	14%
	②通過	2		2		4	3	6		1		
	③通過	2		1		0				1		
岐阜県	①通過	7	21%	7	9	19%	8	14	25%	5	13	30%
	②通過	4		2		5	6	13		2		
	③通過	0		0		1	2			1		
三重県	①通過	7	21%	9	13	28%	5	9	16%	4	8	18%
	②通過	3		4		3	3	8		1		
	③通過	1		0		1				1		
合計		52			47			56			44	

※平成20年 第29回大会から馬術(少年)団体障害をカウントに含む。

国体(ブロック予選)	愛知県	静岡県	岐阜県	三重県	通過枠合計
令和元年 茨城県 (第40回 予選通過)	77種目 (39.1%)	34種目 (17.3%)	47種目 (23.9%)	41種目 (20.8%)	199種目
平成30年 福井県 (第39回 予選通過)	63種目 (32.0%)	44種目 (22.3%)	56種目 (28.4%)	31種目 (15.7%)	194種目
平成29年 愛媛県 (第38回 予選通過)	67種目 (34.0%)	40種目 (20.3%)	57種目 (28.9%)	33種目 (16.8%)	197種目
平成28年 岩手県 (第37回 予選通過)	70種目 (35.5%)	40種目 (20.3%)	57種目 (28.9%)	30種目 (15.2%)	197種目
平成27年 和歌山県 (第36回 予選通過)	69種目 (36.7%)	38種目 (20.2%)	51種目 (27.1%)	30種目 (16.0%)	188種目
平成26年 長崎県 (第35回 予選通過)	68種目 (36.0%)	36種目 (19.0%)	61種目 (32.3%)	24種目 (12.7%)	189種目
平成25年 東京都 (第34回 予選通過)	66種目 (35.3%)	39種目 (20.9%)	60種目 (32.1%)	22種目 (11.8%)	187種目
平成24年 岐阜県 (第33回 予選通過)	75種目 (49.3%)	48種目 (31.6%)	開催県(全種別参加)	29種目 (19.1%)	152種目
平成23年 山口県 (第32回 予選通過)	68種目 (35.2%)	34種目 (17.6%)	63種目 (32.6%)	28種目 (14.5%)	193種目
平成22年 千葉県 (第31回 予選通過)	62種目 (33.0%)	43種目 (22.9%)	61種目 (32.4%)	22種目 (11.7%)	188種目
平成21年 新潟県 (第30回 予選通過)	67種目 (35.4%)	39種目 (20.6%)	62種目 (32.8%)	21種目 (11.1%)	189種目
平成20年 大分県 (第29回 予選通過)	70種目 (36.5%)	45種目 (23.4%)	52種目 (27.1%)	25種目 (13.0%)	192種目

## 2. 法人運営

### ア.会議の開催

#### a.評議員会 2回

回数	期 日	場 所	審 議 事 項
1	6.18(火)	プラザ洞津 高砂の間	1.平成30年度(公財)三重県体育協会事業報告及び財務諸表並びに監査報告について 2.(公財)三重県体育協会役員(理事)の選任について
2	R2.3.26(木)	書面決議	1.令和2年度事業計画及び収支予算(案)について 2.(公財)三重県体育協会 定款の改定について

#### b. 理事会 6回

回数	期 日	場 所	審 議 事 項
1	5.17(金)	書面決議	1.定時評議員会における審議事項の追加の件 2.(公財)三重県体育協会 役員(理事)の選任等について
2	5.27(月)	プラザ洞津 孔雀の間	1.平成30年度(公財)三重県体育協会事業報告及び財務諸表並びに監査報告について 2.(公財)三重県体育協会役員(理事)候補者の推薦について
3	6.18(火)	プラザ洞津 末広の間	1.(公財)三重県体育協会役員について ①理事長(代表理事)の選定 2.(公財)三重県体育協会専門委員会委員の選任について 3.(公財)三重県体育協会名誉役員(理事)の選任について
4	9.17(火)	書面決議	1. 副会長(後任) 1名選任の件
5	R2.1.9(木)	プラザ洞津 高砂の間	1.(公財)三重県体育協会名称変更について 2.令和元年度(公財)三重県体育協会表彰 被表彰者について 3.(公財)三重県体育協会臨時評議員会の招集について
6	R2.3.19(木)	書面決議	1.令和2年度(公財)三重県体育協会事業計画及び収支予算(案)の承認について 2.(公財)三重県体育協会 定款及び諸規程の改正について 3.施設管理事務所長の任用について 4.(公財)三重県体育協会第2回定時評議員会の決議の省略について 5.(公財)三重県体育協会第1回定時評議員会の招集について

### イ. 財政の充実

- a. 本協会の目的である「県民総スポーツ」の普及と競技人口拡大の実現に向け、三重県、三重県教育委員会、本協会加盟団体及び関係機関の協力を得て諸事業を推進するにあたり、財政面での安定した運営基盤を確立するため、保有資産の効率的で安全な運用に努めた。
- b. 本協会が実施する諸事業に賛同された県内外企業等119団体(個人含む)からの賛助金として、2,680,000円、県内29市町から5,371,317円の協力を得た。また、スポーツ推進寄付金として、3団体より1,700,000円の寄付を得た。  
相互連携しているスポーツ安全協会三重県支部から200,000円の広告協賛を得た。



## ウ. 広報

### a. スポーツ活動の情報提供

本県スポーツの普及振興に資するため、各種大会で活躍した選手・チームの成績及び活動をインターネットにおいて発信した。

### b. トップアスリート等就職支援

トップアスリート等の就職支援に係る情報発信として、ホームページ「アスジョブみえ」を開設し、トップアスリートと企業に対しての情報発信に努めた。

### c. 法人のディスクロージャー

公益法人としての社会責務を果たすため、インターネット上において財務諸表等の情報開示を行った。

### d. 各種報告書等の刊行

本協会の事業に関わる冊子等を次のとおり作成・配布した。

- ・みえ体協2019Vol.3
- ・スポーツ医・科学MIE第27巻

## エ. その他

スポーツを取り巻く環境の変化により、本協会の名称変更を検討し、令和2年度から「公益財団法人三重県スポーツ協会」と名称を変更することとした。

第74回国民体育大会三重県選手団入賞一覧表

団体種目

順位	成 年 の 部			少 年 の 部		
1	サッカー	女子 (伊賀フットボールクラブくノ一)	監督兼選手 小野 鈴香			
	テニス	男子 (全三重)	監督 徳丸 真史			
	フェンシング (エペ)	男子 (全三重)	監督兼選手 池畑亮太郎			
	ラグビーフットボール	男子 (全三重)	監督兼選手 渡邊 翔			
2	ボウリング (2人チーム戦)	女子 (全三重)	監督 柳川 穂波			
	テニス	女子 (全三重)	監督 金山 敦思	セーリング (420級)	男子 (津工業高校)	監督 伊藤 秀郎
3	弓 (遠的)	男子 (全三重)	監督 多胡 賢治	アーチェリー	男子 (全三重)	監督 久野 圭太
	スポーツクライミング (ボルダリング)	男子 (全三重)	監督 田嶋 則之	テニス	男子 (四日市工業高校)	監督 徳丸 真史
4				ハンドボール	女子 (四日市商業高校)	監督 蛭川 健司
	ハンドボール	女子 (三重バレット71)	監督 梶原 晃	水 (水球)	男子 (四日市中央工業高校)	監督 川口 智央
	卓球	男子 (全三重)	監督 北河 善治	ソフトボール	女子 (全三重)	監督 中津 数務
	弓 (近的)	男子 (全三重)	監督 多胡 賢治			
5	剣道	男子 (全三重)	監督兼選手 爪橋 智久			
	ソフトテニス	男子 (全三重)	監督 川淵 泰直	体 (競技)	男子 (暁高校)	監督 齊藤 俊
6	ボウリング (4人チーム戦)	女子 (全三重)	監督 柳川 穂波	ソフトテニス	女子 (三重高校)	監督 村田真紀乃
	アーチェリー	女子 (全三重)	監督 久野 圭太			
7				なぎなた (演)	女子 (稲生高校)	監督 阪 明子

個人種目

順位	競技名	種別	種目	記録	氏名	所 属 <ふるさと登録>	監督氏名	所 属
1	レスリング	成年男子	71kg級		藤田 雄大	自衛隊体育学校 《いなべ総合学園高校》	橋爪 幸彦	朝明高校
	レスリング	少年男子	71kg級		弓矢 健人	いなべ総合学園高校	箕浦 健太	久居高校
	セーリング	成年女子	レーザーラジアン級	6点	多田 桃子	三重トヨタ自動車株	杉谷 典明	本田技研工業株鈴鹿製作所
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級クリーン&ジャーク	184kg	山門 正宜	名古屋産業大学大学院 《四日市中央工業高校》	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	女子	-71kg級スナッチ	94kg	石井 未来	東京国際大学 《亀山高校》	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	55kg級クリーン&ジャーク	116kg	大塚 涼太	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	55kg級トータル	203kg	大塚 涼太	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
2	馬術	成年男子A	デベロー	減点 / 0 1分49秒65	中村 勇	北勢ライディングファーム	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	陸上競技	少年男子A	ハンマー投	65m44	山川 滉心	伊勢工業高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年男子共通	円盤投	51m11	三井 康平	稲生高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	成少年男子共通	4×100mリレー	40秒02	矢橋 寛明 川端 魁人 上山 紘輝 林 哉太 中山 智貴	ケイティン三重RC 中京大学《宇治山田商業高校》 近畿大学《宇治山田商業高校》 四日市工業高校 亀山市立中部中学校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	レスリング	成年男子	グレコローマンスタイル130kg級		河野 隆太	あづまフーズ株	橋爪 幸彦	朝明高校
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級クリーン&ジャーク	152kg	坂 典泰	杉の子特別支援学校 石薬師分校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級トータル	278kg	坂 典泰	杉の子特別支援学校 石薬師分校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級トータル	324kg	山門 正宜	名古屋産業大学大学院 《四日市中央工業高校》	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	女子	-71kg級クリーン&ジャーク	114kg	石井 未来	東京国際大学 《亀山高校》	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	女子	-71kg級トータル	208kg	石井 未来	東京国際大学 《亀山高校》	松本良由喜	津市役所
カヌー (スラローム)	成年男子	カヤックシング #25カート	89.88	小島 大地	(公財)三重県体育協会	服部洋一郎	南橋詰燃料店	

個人種目

順位	競技名	種別	種目	記録	氏名	所 属 <ふるさと登録>	監督氏名	所 属
3	陸上競技	成年男子	400m	47秒43	川端 魁人	中京大学 《宇治山田商業高校》	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	水泳（飛込）	成年男子	高飛込	441.20点	村上 和基	(公財)三重県体育協会	池田 庸祐	稲生高校
	レスリング	少年男子	71スタイル/51kg級		古瀬 稜	いなべ総合学園高校	箕浦 健太	久居高校
	ウエイトリフティング	成年男子	67kg級スナッチ	126kg	坂 典泰	杉の子特別支援学校 石薬師分校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	成年男子	89kg級スナッチ	140kg	山門 正宜	名古屋産業大学大学院 《四日市中央工業高校》	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	成年男子	109kg級スナッチ	150kg	岩崎 貴之	(公財)三重県体育協会	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	67kg級スナッチ	109kg	村上 天駿	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	馬術	成年女子	自由演技馬場馬術	67.435点	北川 真弓	名張乗馬クラブ	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	馬術	少年	団体障害飛越		藤原 仁 北野 拓海 水野 開	高田高校 高田高校 四日市高校	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	ライフル射撃	成年男子	50mライフル男子膝射20発	191点	山本 拓生	(公財)三重県体育協会	葛原 誠二	津警察署
	空手道	成年男子	組手重量級		山下 僚也	高栄警備保障㈱ 《四日市市立塩浜中学校》	奈須 和光	和接骨院
ボウリング	成年女子	個人戦	1883	入江菜々美	(公財)三重県体育協会	柳川 穂波	富桑商事合資会社	
4	陸上競技	成年男子	110mH	13秒85	藤井 亮汰	(公財)三重県体育協会	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	成年男子	砲丸投	17m47	村上 輝	日本体育施設 《南伊勢高校》	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	水泳（競泳）	成年男子	71-71-4×50m	1分29秒68	難波 暉 大山 知章 石黒 智基 川口 恭矢	新東工業㈱《四日市市立常盤中学校》 中京大学《尾鷲高校》 津田シミュレーション委員会 東洋大学《津田学園高校》	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田シミュレーション大山田校
	ウエイトリフティング	少年男子	55kg級スナッチ	87kg	大塚 涼太	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級スナッチ	106kg	森 悠一郎	四日市中央工業高校	松本良由喜	津市役所
	自転車競技	少年男子	スプリント		伊藤 京介	朝明高校	松本 諒太	朝明高校
	馬術	成年男子	国体総合馬術	36.1点	中村 勇	北勢ライディングファーム	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	馬術	成年女子	馬場馬術	65.412点	北川 真弓	名張乗馬クラブ	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	アーチェリー	少年男子	個人戦	612	田木 亮成	四日市四郷高校	久野 圭太	四日市四郷高校
スケート（スピード）	成年男子	1000m	1分20秒06	森本 拓也	(公財)三重県体育協会	小屋口陽二	エイワテック㈱	
5	陸上競技	成年男子	三段跳	16m02	伊藤 陸	近畿大学工業高专	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年男子共通	走高跳	2m06	本田 基偉	近畿大学工業高专	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年男子共通	三段跳	15m13	田口 雄暉	津東高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年女子共通	砲丸投	13m67	床辺 彩乃	松阪商業高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	水泳（競泳）	成年男子	自由形100m	49秒90	難波 暉	新東工業㈱ 《四日市市立常盤中学校》	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田シミュレーション大山田校
	水泳（競泳）	成年男子	バタフライ100m	52秒68	阪本 祐也	東洋大学 《三重高校》	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田シミュレーション大山田校
	ボクシング	少年男子	ピン級		田嶋 位兆	久居高校	片山太一郎	久居高校
	レスリング	女子	71スタイル/62kg級		花井 瑛絵	至学館大学 《四日市市立羽津中学校》	橋爪 彦彦	朝明高校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル/80kg級		山崎 然生	いなべ総合学園高校	箕浦 健太	久居高校
	レスリング	少年男子	グレコローマンスタイル/92kg級		佐野 瑠栄	朝明高校	箕浦 健太	久居高校
	ウエイトリフティング	成年男子	109kg級トータル	330kg	岩崎 貴之	(公財)三重県体育協会	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	67kg級トータル	229kg	村上 天駿	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	馬術	成年女子	ゲート	減点 / 0 1分45秒26	中村 洋子	北勢ライディングファーム	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	ボウリング	成年女子	個人戦	1846	谷原 美来	㈱百五銀行	柳川 穂波	富桑商事合資会社
	スケート（スピード）	成年男子	500m	37秒13	森本 拓也	(公財)三重県体育協会	小屋口陽二	エイワテック㈱
スキー（シヤイアントスラローム）	成年女子A		1分12秒25	中澤 真緒	森川建設㈱	馬場 淳 前田 巖	(公財)三重県産業支援センター 第三銀行本店個人営業課	

個人種目

順位	競技名	種別	種目	記録	氏名	所属 <ふるさと登録>	監督氏名	所属
6	陸上競技	成年女子	100m	11秒94	名倉 千晃	NTN㈱	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	水泳（競泳）	成年男子	自由形50m	22秒50	難波 暉	新東工業㈱ 《四日市市立常磐中学校》	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田スイミングスクール大山田校
	水泳（飛込）	成年男子	飛板飛込	362.90点	村上 和基	(公財)三重県体育協会	池田 庸祐	稲生高校
	ウエイトリフティング	成年男子	109kg級クリーン&ジヤーク	180kg	岩崎 貴之	(公財)三重県体育協会	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級クリーン&ジヤーク	125kg	森 悠一郎	四日市中央工業高校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	少年男子	73kg級トータル	231kg	森 悠一郎	四日市中央工業高校	松本良由喜	津市役所
	カヌー（スラット）	成年男子	カヌー（スラット）#500m	1分52秒584	大城 海輝	(公財)三重県体育協会	濱口 洋輔	桑名西高校
	カヌー（スラット）	成年女子	カヌー（スラット）#500m	2分24秒519	日沖 悠	桑名西高校	濱口 洋輔	桑名西高校
	カヌー（スラット）	成年女子	カヌー（スラット）#200m	58秒259	日沖 悠	桑名西高校	濱口 洋輔	桑名西高校
スキューバ（クロスカントリー）	成年男子A	クロスカントリー	27分48秒6	石川謙太郎	(公財)三重県体育協会	野口 洋二	ケミュー㈱伊賀事業所	
7	陸上競技	少年男子A	100m	10秒92	林 哉太	四日市工業高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年女子共通	円盤投	40m41	西井 琳音	三重高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	セーリング	成年男子	レーザ級	46点	南里 研二	㈱百五銀行	杉谷 典明	本田技研工業㈱鈴鹿製作所
	セーリング	少年男子	レーザ級	30点	黒田 浩渡	津工業高校	伊藤 秀郎	津工業高校
	ウエイトリフティング	成年男子	55kg級クリーン&ジヤーク	121kg	兼元 秀寿	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	ウエイトリフティング	成年男子	55kg級トータル	214kg	兼元 秀寿	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	馬術	成年男子	馬場馬術	64.147点	河北 浩峰	高田学苑	中村 洋子	北勢ライディングファーム
カヌー（スラット）	成年男子	カヌー（スラット）#200m	44秒159	大城 海輝	(公財)三重県体育協会	濱口 洋輔	桑名西高校	
8	陸上競技	少年男子A	走幅跳	7m19	藤本 大輝	皇學館高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年男子A	やり投	61m78	中村 竜成	伊勢工業高校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	陸上競技	少年男子B	100m	11秒30	中山 智貴	亀山市立中部中学校	山本 浩武 久保 幸弘	松阪商業高校 神戸高校
	水泳（競泳）	少年男子A	自由形50m	23秒55	別所 輝	四日市高校	芝原 一平 八田 知宏	尾鷲高校 津田スイミングスクール大山田校
	ウエイトリフティング	成年男子	55kg級スナッチ	93kg	兼元 秀寿	四日市工業高校	松本良由喜	津市役所
	馬術	少年	ゲート	減点 / 4 1分40秒15	水野 開	四日市高校	中村 洋子	北勢ライディングファーム
	ライフル射撃	成年男子	50mライフル男子伏射60発	118.3点	山本 拓生	(公財)三重県体育協会	葛原 誠二	津警察署
	スケート（スヒート）	成年男子	1000m		坂本 永吉	みどりクリニック	小屋口陽二	エイワテック㈱

※ウエイトリフティングのトータル、アーチェリーの個人戦には、競技得点はありません。

令和元年度(公財)三重県体育協会表彰被表彰者・被表彰者チーム名簿  
 (表彰対象期間:H31.1.1～R元.12.31)

体育功労者賞(表彰規程第2条第1号関係)

No.	役員	名前	ふりがな	性別	功 績	在任期間(年度)	備考
1	三重県体育協会 前副理事長 (学識経験者)	熊沢 逸雄	くまざわ・いっお	男	平成20年度から平成29年度での5期・10年を本協会理事及び副理事長として務め、本協会の運営に貢献された。 また、NPO法人鈴鹿市体育協会の会長として、本県の競技力向上やスポーツの普及に多大な貢献をされた。	理事:平成20年度～平成21年度 副理事長:平成22年度～平成24年9月 理事:平成24年10月～平成26年度 副理事長:平成27年度～平成29年度	第2条第1号ア

特別優秀選手賞(表彰規程第2条第3号関係)

※備考欄記載の大会は、受賞大会以外の成績

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	サッカー	田畑 輝樹	たばた・てるき	男	日本 (ヴィアアティン三重BS)	AFCビーチャサッカー選手権 タイ2019	優勝	平成31年3月7日 ～ 平成31年3月17日	タイ	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
2	サッカー	小牧 正幸	こまき・まさゆき	男	日本 (ヴィアアティン三重BS)	AFCビーチャサッカー選手権 タイ2019	優勝	平成31年3月7日 ～ 平成31年3月17日	タイ	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
3	サッカー	宜野座寛也	ぎのざ・ともや	男	日本 (ヴィアアティン三重BS)	AFCビーチャサッカー選手権 タイ2019	優勝	平成31年3月7日 ～ 平成31年3月17日	タイ	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
4	レスリング	小塚 菜々	こづか・なな	女	いなべレスリングクラブ (桑名市立深谷小学校 5年)	平成31年度ジュニアアキーンズカップ・レスリング選手権大会 小学5・6年の部 33kg級	優勝	平成31年4月2日 ～ 平成31年4月3日	東京都	第2条3号ア	3年連続
5	フェンシング	ウエダジャン・ハ ジューン	うえでいしんは・ じゅん	男	日本 (立命館大学 2年)	2019ジュニア男子エベフエンシシングワールドカップ 東京大会 男子エベ個人戦	優勝	平成31年1月5日	日本	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞 アジアジュニア選手権大会 男子エベ団体戦 3位
6	柔道	原沢 久喜	はらさわ・ひさよし	男	日本 (株)百五銀行)	2019世界柔道選手権東京大会 男子100kg超級	2位	令和元年8月25日 ～ 令和元年9月1日	日本	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞
7	障がい者スポーツ	菰方 里菜	こもかた・りな	女	日本 〔(一社)日本ろう者テニス協会〕 四日市商業高校 2年	第2回世界デフテニス選手権大会 女子ダブルス	優勝	令和元年10月12日 ～ 令和元年10月19日	トルコ	第2条3号イ	国際大会 3位以内入賞

優秀選手賞(表彰規程第2条第2号関係)

※=特別優秀選手受賞者

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	水泳	金谷 優気	かなや・ゆうき	男	JFC京浜	第2回日本社会人選手権水泳競技大会 男子 4×100mメドレーリレー	優勝	令和元年11月9日 ～ 令和元年11月10日	静岡県	第2条2号ア	
2	水泳	難波 暉	なんば・あきら	男	日本 (新東工業(株))	第18回世界水泳選手権大会 男子 4×100mフリーリレー	出場	令和元年7月12日 ～ 令和元年7月28日	韓国	第2条2号イ	
3	水泳	阪本 祐也	さかもと・ゆうや	男	東洋大学 2年 (大紀スイミングクラブ)	第61回日本選手権(25m)水泳競技大会 200mバタフライ	優勝	令和元年10月26日 ～ 令和元年10月27日	東京都	第2条2号ア	※平成26年度
4	水泳	畑 翔太郎	はた・しょうたろう	男	四日市中央工業高校 3年	第10回アジアユース水球競技選手権	優勝	令和元年9月24日 ～ 令和元年10月2日	インド	第2条2号イ	
5	水泳	山田 風航	やまだ・なぎ	男	四日市中央工業高校 3年	第10回アジアユース水球競技選手権	優勝	令和元年9月24日 ～ 令和元年10月2日	インド	第2条2号イ	
6	水泳	春日 瑛士	かすが・えいじ	男	三重ダイビングクラブ (四日市市立中央小学校 6年)	第42回全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 9～11歳男子 1m飛板飛込	優勝	令和元年8月22日 ～ 令和元年8月25日	大阪府	第2条2号ア	全国JOCジュニアオリンピックカップ 春季水泳競技大会 優勝
7	水泳	岩野 夏帆	いわた・なほ	女	秀明大学 2年	FINA水球世界ジュニア選手権2019(女子)	出場	令和元年9月9日 ～ 令和元年9月15日	ポルトガル	第2条2号イ	
8	水泳	種田なつは	たねだ・なつは	女	日本 みえA.S.C (セントセツ女子学園中学校 3年)	第1回FINA AS 世界ユース選手権大会 チーム・フリーコンビネーション	出場	令和元年8月28日 ～ 令和元年9月1日	スロバキア	第2条2号イ	
9	水泳	島田 綾乃	しまだ・あやの	女	日本 みえA.S.C (鈴鹿市立白鳥中学校 1年)	第1回FINA AS 世界ユース選手権大会 チーム・フリーコンビネーション	出場	令和元年8月28日 ～ 令和元年9月1日	スロバキア	第2条2号イ	
10	水泳	坪井麗美伽	つばい・れみか	女	日本 みえA.S.C (津市立豊が丘小学校 6年)	ロシアン・メトリョーシユカ大会 ソロ	出場	令和元年12月12日 ～ 令和元年12月15日	ロシア	第2条2号イ	
11	ヨット	多田 桃子	ただ・ももこ	女	三重トヨタ自動車(株)	セーリング競技 成年女子 レーザー・ラジアル級	優勝	令和元年9月29日 ～ 令和元年10月2日	茨城県	第2条2号ア	
12	カヌー	日沖 悠	ひおき・ゆう	女	四日市カヌークラブ (桑名西高校 2年)	令和元年度日本カヌー・スプリントジュニア選手権大会 女子カナディアンシングル 500m・200m	優勝	令和元年8月19日 ～ 令和元年8月22日	山梨県	第2条2号ア	※平成30年度
13	ボウリング	高木 裕太	たかぎ・ゆうた	男	三重県ボウリング連盟	第57回全日本ボウリング選手権大会 男子マスターズ戦	優勝	平成31年3月21日 ～ 平成31年3月24日	愛知県	第2条2号ア	
14	ボウリング	澤田 英子	さわだ・えいこ	女	伊賀忍クラブ	第52回全日本シニアボウリング選手権大会 女子ハイシニア部門 選手権者決定戦	優勝	令和元年6月21日 ～ 令和元年6月23日	愛知県	第2条2号ア	
15	ボウリング	柳川 穂波	やながわ・ほなみ	女	三重県ボウリング連盟 桑名クラブ	第32回オールジャパン・レディーズボウリングトーナメント シニアの部 個人戦	優勝	令和元年6月7日 ～ 令和元年6月9日	愛媛県	第2条2号ア	※平成21年度 世界シニア選手権大会 出場
16	ボウリング	梶田ひかる	かじた・ひかる	女	三重県ボウリング連盟 伊賀忍クラブ	NHK杯 第53回全日本選抜ボウリング選手権大会 女子個人戦	優勝	令和元年5月17日 ～ 令和元年5月19日	埼玉県	第2条2号ア	世界選手権大会 出場

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
17	ボウリング	谷原 美来	たにはら・みらい	女	日本 〔三重県ボウリング連盟 津クラブ〕 (株)百五銀行	世界ボウリング選手権大会2019女子大会	出場	令和元年8月24日 ～ 令和元年8月30日	アメリカ	第2条2号イ	
18	ボウリング	入江菜々美	いりえ・ななみ	女	日本 〔三重県ボウリング連盟 桑名クラブ〕 (公社)三重県体育協会	世界ボウリング選手権大会2019女子大会	出場	令和元年8月24日 ～ 令和元年8月30日	アメリカ	第2条2号イ	
19	陸上競技	衛藤 昂	えとう・たかし	男	味の素AGF(株)	第23回アジア陸上競技選手権大会 男子走高跳	2位	平成31年4月21日 ～ 平成31年4月24日	カタール	第2条3号イ	※平成21年度 世界選手権大会 出場
20	陸上競技	伊藤 陸	いとう・りく	男	近畿大学工業高等専門学校 4年	第35回U20日本陸上競技選手権大会 男子走幅跳	優勝	令和元年10月18日 ～ 令和元年10月20日	広島県	第2条2号ア	
21	陸上競技	三井 康平	みつい・こうへい	男	稲生高校 3年	秩父宮賜杯 第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 男子円盤投	優勝	令和元年8月4日 ～ 令和元年8月8日	沖縄県	第2条2号ア	
22	陸上競技	東森 夏輝	ひがしもり・なつき	男	近畿大学工業高等専門学校 3年	第54回全国高等学校体育大会 陸上競技 男子400mH	優勝	令和元年8月17日 ～ 令和元年8月19日	広島県	第2条2号ア	
23	陸上競技	鴨澤 青海	かもざわ・おうみ	男	宇治山田商業高校 3年	第35回U20日本陸上競技選手権大会 男子円盤投	優勝	令和元年10月18日 ～ 令和元年10月20日	広島県	第2条2号ア	
24	陸上競技	岡 拓矢	おか・たくや	男	大橋学園高校 3年	第54回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会 男子三段跳	優勝	令和元年8月9日 ～ 令和元年8月12日	東京都	第2条2号ア	
25	陸上競技	畠田 寛大	はたけだ・ひろと	男	鳥羽商船高等専門学校 3年	第54回全国高等学校体育大会 陸上競技 男子走高跳	優勝	令和元年8月17日 ～ 令和元年8月19日	広島県	第2条2号ア	
26	陸上競技	本田 基偉	ほんだ・もとゐ	男	近畿大学工業高等専門学校 3年	第13回U18日本陸上競技選手権大会 男子走高跳	優勝	令和元年10月18日 ～ 令和元年10月20日	広島県	第2条2号ア	
27	陸上競技	上田 光一	うえだ・こういち	男	近畿大学工業高等専門学校 2年	第54回全国高等学校体育大会 陸上競技 男子棒高跳	優勝	令和元年8月17日 ～ 令和元年8月19日	広島県	第2条2号ア	
28	陸上競技	中山 智貴	なかやま・ともき	男	亀山市立中部中学校 3年	第46回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子200m	優勝	令和元年8月21日 ～ 令和元年8月24日	大阪府	第2条2号ア	ジュニアオリンピック陸上 競技大会 優勝
29	陸上競技	瀨口 紀子	はまぐち・きこ	女	松阪商業高校 3年	第7回全国高等学校陸上競技選抜大会 女子の部 四種競技	優勝	令和元年8月31日 ～ 令和元年9月1日	大阪府	第2条2号ア	
30	陸上競技	大門 あい	おおかど・あい	女	鈴鹿工業高等専門学校 3年	第54回全国高等学校体育大会 陸上競技 女子走高跳	優勝	令和元年8月17日 ～ 令和元年8月19日	広島県	第2条2号ア	
31	テニス	岡田 進	おかだ・すすむ	男	三重グリーンテニスクラブ	第81回日本商業開発全日本ベテランテニス選手権'19 男子85歳以上 シングルス	優勝	令和元年10月1日 ～ 令和元年10月9日	福岡県	第2条2号ア	
32	テニス	島袋 将	しまぶくろ・しよう	男	日本 (早稲田大学 4年)	第30回ユニバーシアード競技大会テニス競技 男子 ダブルス	3位	令和元年7月3日 ～ 令和元年7月14日	イタリヤ	第2条3号イ	※平成30年度



No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
33	テニス	義基 環	よしもと・たまき	女	三重グリーンテニスクラブ 海星中学校 3年	第81回日本商業開発会日本ベテランテニス選手権'19 女子40歳以上 シングルス	優勝	令和元年10月1日 ～ 令和元年10月9日	愛知県	第2条2号ア	
34	テニス	真田 将吾	さなだ・しょうご	男	日本 三重グリーンテニスクラブ 海星中学校 3年	2019ワールドジュニアアジア・オセアニア最終予選 男子団体戦	優勝	平成31年4月1日 ～ 平成31年4月6日	マレーシア	第2条3号イ	※平成29年度
35	体操	西村 尚純	にしむら・たかと	男	相好体操クラブ (鈴鹿市立創徳中学校 2年)	2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 男子Aクラス あん馬	優勝	令和元年8月12日 ～ 令和元年8月13日	神奈川県	第2条2号ア	
36	体操	岡村 真	おかむら・まな	女	津市立橋北中学校 2年	第50回全国中学校体操競技選手権大会 女子平均台	優勝	令和元年8月23日 ～ 令和元年8月24日	京都府	第2条2号ア	
37	体操	鈴木 望未	すずき・のぞみ	女	相好体操クラブ (四日市市立富田中学校 1年)	2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 女子Aクラス 個人総合・平均台	優勝	令和元年8月12日 ～ 令和元年8月13日	神奈川県	第2条2号ア	
38	レスリング	河野 隆太	こうの・りゅうた	男	あづまフーズ(株)	第67回全日本社会人レスリング選手権大会 男子グレコローマンスタイル 130kg級	優勝	令和元年7月6日 ～ 令和元年7月7日	埼玉県	第2条2号ア	※平成27年度 アジアレスリング選手権大 会 出場 他
39	レスリング	高橋 侑希	たかはし・ゆうき	男	日本 (ALSOK)	2019年アジアレスリング選手権大会 男子フリースタイル 57kg級	3位	平成31年4月23日 ～ 平成31年4月24日	中国	第2条3号イ	※平成21年度
40	レスリング	中田 陽	なかた・よう	男	朝明高校	令和元年度全日本選抜レスリング選手権大会 男子フリースタイル 61kg級	優勝	令和元年6月13日 ～ 令和元年6月14日	東京都	第2条2号ア	※平成19年度
41	レスリング	藤田 雄大	ふじた・ゆうだい	男	日本 (自衛隊体育学校)	2019年アジアレスリング選手権大会 男子フリースタイル 61kg級	3位	平成31年4月23日 ～ 平成31年4月24日	中国	第2条3号イ	※平成28年度 国民体育大会 優勝
42	レスリング	藤波 勇飛	ふじなみ・ゆうひ	男	日本 (ジャパンビバレッジ)	2019年アジアレスリング選手権大会 男子フリースタイル 74kg級	出場	平成31年4月23日 ～ 平成31年4月24日	中国	第2条2号イ	※平成21年度
43	レスリング	成國 大志	なりくに・たいし	男	青山学院大学 4年	文部科学大臣杯 UNIVAS CUP 令和元年度全日本学生レスリング選手権大会 男子フリースタイル 74kg級	優勝	令和元年8月20日 ～ 令和元年8月23日	東京都	第2条2号ア	※平成26年度
44	レスリング	基山仁太郎	もとやま・じんたろう	男	日本 (日本体育大学 2年)	2019年世界ジュニアレスリング選手権大会 男子フリースタイル 74kg級	2位	令和元年8月14日 ～ 令和元年8月16日	エストニア	第2条3号イ	※平成19年度
45	レスリング	徳力 貴太	とくりき・かんと	男	専修大学 1年	2019年度IOCジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニアレスリング選手権大会 フリースタイル 65kg級	優勝	平成31年4月27日 ～ 平成31年4月28日	神奈川県	第2条2号ア	世界ジュニアレスリング選 手権大会 出場
46	レスリング	土性 沙羅	どしょう・さら	女	日本 (東新住建(株))	2019年アジアレスリング選手権大会 女子 68kg級	優勝	平成31年4月25日 ～ 平成31年4月26日	中国	第2条3号イ	※平成18年度
47	レスリング	向田 真優	むかいだ・まゆ	女	日本 (至学館大学 4年)	2019年世界レスリング選手権大会 女子 53kg級	2位	令和元年9月17日 ～ 令和元年9月20日	カザフスタン	第2条3号イ	※平成20年度
48	レスリング	奥野 春菜	おくの・はるな	女	日本 (至学館大学 3年)	2019年世界ジュニアレスリング選手権大会 女子 53kg級	優勝	令和元年8月14日 ～ 令和元年8月16日	エストニア	第2条3号イ	※平成20年度 U-23世界選手権 優勝 他

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
49	レスリング	花井 珠絵	はなない・あきえ	女	日本 (至学館大学 2年)	2019年世界ジュニアレスリング選手権大会 女子 57kg級	優勝	令和元年8月14日 ～ 令和元年8月16日	エストニア	第2条3号イ	ジュニアユニオンズカップ レスリング選手権大会 優勝 他
50	レスリング	永本 聖奈	ながもと・せな	女	至学館大学 1年	文部科学大臣杯 UNIVAS CUP 令和元年度全日本学生レスリング選手権大会 女子 57kg級	優勝	令和元年8月20日 ～ 令和元年8月23日	東京都	第2条2号ア	
51	レスリング	弓矢 暖人	ゆみや・はると	男	いなべ総合学園高校 2年	第62回全国高等学校選抜レスリング大会 個人対抗戦 55kg級	優勝	平成31年3月27日 ～ 平成31年3月29日	新潟県	第2条2号ア	
52	レスリング	古瀬 稜	ふるせ・りょう	男	いなべ総合学園高校 2年	令和元年度全国高等学校総合体育大会 レスリング競技 男子個人対抗戦 51kg級	優勝	令和元年7月29日 ～ 令和元年8月1日	熊本県	第2条2号ア	
53	レスリング	弓矢 健人	ゆみや・けんと	男	いなべ総合学園高校 1年	第74回国民体育大会 レスリング競技 少年男子フリースタイル 55kg級	優勝	令和元年9月28日 ～ 令和元年10月1日	茨城県	第2条2号ア	※平成29年度 アジアアスレチックレスリング選 手権大会 出場
54	レスリング	神谷龍之介	かみや・りゅうのすけ	男	いなべレスリングクラブ (いなべ市立大安中学校 3年)	令和元年度第45回全国中学生レスリング選手権大会 男子の部 68kg級	優勝	令和元年6月8日 ～ 令和元年6月9日	茨城県	第2条2号ア	
55	レスリング	菊地 正義	きくち・まさよし	男	松阪レスリングクラブ (津市立一志西小学校 6年)	令和元年度第36回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 6年生 65kg級	優勝	令和元年7月28日	和歌山県	第2条2号ア	
56	レスリング	弓矢 翔太	ゆみや・しょうた	男	いなべレスリングクラブ (いなべ市立石榑小学校 5年)	第23回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 男子の部 5年生 45kg級	優勝	平成31年2月23日 ～ 平成31年2月24日	東京都	第2条2号ア	
57	レスリング	萩野 貴大	はぎの・たかひろ	男	いなべレスリングクラブ (いなべ市立笠間小学校 3年)	令和元年度第36回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 3年生 39kg級	優勝	令和元年7月28日	和歌山県	第2条2号ア	
58	レスリング	吉田 将悠	よしだ・まさちか	男	一志ジュニアレスリング教室 (津市立大三小学校 3年)	令和元年度第36回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 3年生 36kg級	優勝	令和元年7月28日	和歌山県	第2条2号ア	
59	レスリング	藤波 朱理	ふじなみ・あかり	女	いなべ総合学園高校 1年	令和元年度全国高等学校総合体育大会 レスリング競技 女子個人対抗戦 53kg級	優勝	令和元年7月29日 ～ 令和元年8月1日	熊本県	第2条2号ア	※平成25年度
60	レスリング	森川 晴風	もりかわ・はるな	女	日本 (一志ジュニアレスリング教室) 津市立一志中学校 3年	2019年U-15アジアレスリング選手権大会 女子 50kg級	優勝	令和元年11月22日 ～ 令和元年11月24日	台湾	第2条3号イ	※平成28年度 ジュニアユニオンズカップ レスリング選手権大会 優勝 他
61	レスリング	ピャンバスレン・ フウラン	びゃんばすれん・ ふうらん	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志中学校 3年)	令和元年度 東京都知事杯 第10回全国中学選抜レスリング選手権大会 女子の部 58kg級	優勝	令和元年11月23日 ～ 令和元年11月24日	東京都	第2条2号ア	
62	レスリング	眞柄 美和	まがら・みわ	女	日本 (四日市ジュニアレスリングクラブ) 四日市市立常磐中学校 3年	2019年U-15アジアレスリング選手権大会 女子 42kg級	優勝	令和元年11月22日 ～ 令和元年11月24日	台湾	第2条3号イ	※平成29年度 全国中学生レスリング選手 権大会 優勝
63	レスリング	新井 一花	あらい・いちか	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立白山中学校 3年)	令和元年度 東京都知事杯 第10回全国中学選抜レスリング選手権大会 女子の部 54kg級	優勝	令和元年11月23日 ～ 令和元年11月24日	東京都	第2条2号ア	
64	レスリング	川村 百花	かわむら・ももか	女	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立笹川中学校 2年)	令和元年度第45回全国中学生レスリング選手権大会 女子の部 39kg級	優勝	令和元年6月8日 ～ 令和元年6月9日	茨城県	第2条2号ア	※平成29年度

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
65	レスリング	北出 桃子	きたで・ももこ	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立白山中学校 2年)	令和元年度 東京都知事杯 第10回全国中学選抜レスリング選手権大会 女子の部 62kg級	優勝	令和元年11月23日 ～ 令和元年11月24日	東京都	第2条2号ア	
66	レスリング	吉田七名海	よしだ・ななみ	女	一志ジュニアレスリング教室 (津市立一志西小学校 6年)	第23回全国少年少女選抜レスリング選手権大会 女子の部 6年生 36kg級	優勝	平成31年2月23日 ～ 平成31年2月24日	東京都	第2条2号ア	※平成28年度
67	レスリング	金山 来実	かなやま・くるみ	女	四日市ジュニアレスリングクラブ (四日市市立浜田小学校 5年)	令和元年度第36回全国少年少女レスリング選手権大会 女子の部 5年生 30kg級	優勝	令和元年7月28日	和歌山県	第2条2号ア	
68	ウエイトリフティング	山門 正宜	やまかど・まさのぶ	男	名古屋産業大学大学院	第74回国民体育大会 ウエイトリフティング競技 成年男子 89kg級 クリーン&ジャーク	優勝	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月6日	茨城県	第2条2号ア	
69	ウエイトリフティング	古屋敷拓也	こやしき・たくや	男	法政大学 3年	平成30年度第15回全日本学生ウエイトリフティング選抜選手権大会 男子+109kg級	優勝	平成31年3月7日 ～ 平成31年3月8日	埼玉県	第2条2号ア	
70	ウエイトリフティング	横山太偉雅	よこやま・たいが	男	九州国際大学 2年	2019世界ジュニア選手権大会 男子+109kg級	出場	令和元年6月1日 ～ 令和元年6月8日	フィジー	第2条2号イ	全日本ジュニア選手権大 会 優勝
71	ウエイトリフティング	山本 真鼓	やまもと・まこ	女	名古屋産業大学大学院	2019年度第33回全日本女子ウエイトリフティング選手権大会 64kg級	優勝	令和元年5月24日 ～ 令和元年5月26日	岩手県	第2条2号ア	※平成30年度 全日本女子選抜選手権大 会、全日本学生選抜選手 権大会 優勝
72	ウエイトリフティング	石井 未来	いしい・みく	女	東京国際大学 4年	第74回国民体育大会 ウエイトリフティング競技 女子 71kg級 スナッチ	優勝	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月6日	茨城県	第2条2号ア	※平成28年度 全日本女子学生選手権大 会 優勝
73	ウエイトリフティング	松本 奈々	まつもと・なな	女	金沢学院大学 3年	平成30年度第15回全日本学生ウエイトリフティング選抜選手権大会 女子55kg級	優勝	平成31年3月7日 ～ 平成31年3月8日	埼玉県	第2条2号ア	
74	ウエイトリフティング	大塚 涼太	おおつか・りょうた	男	四日市工業高校 3年	第74回国民体育大会 ウエイトリフティング競技 少年男子 55kg級 クリーン&ジャーク・トータル	優勝	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月6日	茨城県	第2条2号ア	
75	ウエイトリフティング	松田 魁利	まつだ・かほり	男	鈴鹿市立白子中学校 3年	令和元年度第33回全国男子中学生ウエイトリフティング選手権大会 55kg級	優勝	令和元年8月8日 ～ 令和元年8月9日	山梨県	第2条2号ア	
76	ウエイトリフティング	野間 若菜	のま・わかひな	女	四日市市立楠中学校 2年	令和元年度第18回全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会 40kg級	優勝	令和元年8月8日 ～ 令和元年8月9日	山梨県	第2条2号ア	
77	馬術	中村 勇	なかむら・いさむ	男	北勢ライディングフアーム	第74回国民体育大会 馬術競技 成年男子 ダービー	優勝	令和元年9月29日 ～ 令和元年10月3日	茨城県	第2条2号ア	※平成26年度
78	フェンシング	山田 優	やまだ・まさる	男	日本 (自衛隊体育学校)	アジアフェンシング選手権大会2019 男子エペ個人戦	優勝	令和元年6月13日 ～ 令和元年6月18日	日本	第2条3号イ	※平成25年度 ワールドカップアジアセンテ ン大会 エペ男子団体 優勝 他
79	フェンシング	小久保遥斗	こくぼ・はると	男	中央大学 1年	2019年度全日本学生フェンシング選手権大会 男子サーブル団体戦	優勝	令和元年11月11日 ～ 令和元年11月15日	東京都	第2条2号ア	
80	ラグビーフットボール	本村 直樹	もとむら・なおき	男	日本 ホンダヒート (本田技研工業(株)鈴鹿製作所)	アジアラグビーセvensシリーズ2019 第1戦韓国大会・第3戦スリランカ大会 男子セvens	優勝	令和元年8月31日 ～ 令和元年9月29日	韓国 スリランカ	第2条2号イ	※平成30年度

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
81	ラグビーフットボール	伊藤 優希	いとう・ゆき	女	日本 PEARLS 住友電装(株)	アジアラグビーセvensシリーズ2019 第1戦韓国大会・第2戦中国大会・第3戦スリランカ大会 女子セvens	優勝	令和元年8月31日 ～ 令和元年9月29日	韓国 中国 スリランカ	第2条2号イ	
82	日本拳法	大谷 理緒	おおたに・りお	女	松阪西日本拳法会 (松阪市立中部中学校 1年)	第37回全日本拳法少年個人選手権大会 中学1年女子の部	優勝	令和元年9月22日	大阪府	第2条2号ア	
83	日本拳法	小野 穂果	おの・ほのか	女	日本拳法亀山会 (亀山市立亀山西小学校 1年)	第37回全日本拳法少年個人選手権大会 小学1年女子の部	優勝	令和元年9月22日	大阪府	第2条2号ア	
84	パワーリフティング	辻 紀子	つじ・のりこ	女	日本 (TSUJI'S Gym)	第7回世界クラシックパワーリフティング選手権大会 マスターズⅡ 47kg以下級	2位	令和元年6月3日 ～ 令和元年6月15日	スウェーデン	第2条3号イ	※平成27年度
85	障がい者スポーツ	伊藤 智也	いとう・ともや	男	日本 (一社)日本パラ陸上競技連盟 バイエル薬品(株)	ドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会 男子400m T52	2位	令和元年11月7日 ～ 令和元年11月15日	UAE	第2条3号イ	※平成30年度 世界パラ選手権大会 男子100m・1500m 3位
86	障がい者スポーツ	岡田 和也	おかだ・かずや	男	日本 NPO法人日本障害者 スポーツ射撃連盟	2019年WSFS世界選手権 シドニー大会 R3-10mエアライフル伏射混合・ R6-50mライフル伏射混合 SH1	出場	令和元年10月11日 ～ 令和元年10月18日	オーストラリア	第2条2号イ	
87	障がい者スポーツ	細川 宏史	ほそかわ・ひろし	男	日本 (紀北町役場)	第36回日本パラ水泳選手権大会 男子100m背泳ぎ・400m自由形 S7	優勝	令和元年11月23日 ～ 令和元年11月24日	千葉県	第2条2号ア	
88	障がい者スポーツ	望月 貴裕	もちつき・たかひろ	男	日本 NPO法人日本障害者 スポーツ射撃連盟	2019年WSFS世界選手権 シドニー大会 R1-10mエアライフル立射男子 SH1	出場	令和元年10月11日 ～ 令和元年10月18日	オーストラリア	第2条2号イ	
89	障がい者スポーツ	井谷 俊介	いたに・しゅんすけ	男	日本 (一社)日本パラ陸上競技連盟 SMBC日興証券(株)	ドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会 男子100m・200m T64 ユニバーサル4×100mリレー	出場	令和元年11月7日 ～ 令和元年11月15日	UAE	第2条2号イ	※平成30年度
90	障がい者スポーツ	坂倉 航季	さかぐら・こうき	男	日本 (一社)日本知的障害者水泳連盟 津トップスイミングクラブ	プリズベン2019 INASグローバルゲームズ 男子400m自由形 S14 男子4×100mフリーリレー	3位	令和元年10月12日 ～ 令和元年10月19日	オーストラリア	第2条3号イ	※平成30年度
91	障がい者スポーツ	前川 楓	まえがわ・かえで	女	日本 (一社)日本パラ陸上競技連盟 チー-AKAI TEKI	ドバイ2019世界パラ陸上競技選手権大会 女子100m・走幅跳 T63	出場	令和元年11月7日 ～ 令和元年11月15日	UAE	第2条2号イ	※平成30年度
92	障がい者スポーツ	安 夏希	やす・なつき	女	日本 (いんべ総合学園高校 3年)	第7回中国オープン選手権大会 2019ワールドパラアスレティクスグランプリ大会(北京) T34 女子800m	優勝	令和元年5月10日 ～ 令和元年5月12日	中国	第2条2号イ	

特別優秀監督賞(表彰規程第2条第3号関係)

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	水泳	池田 庸祐	いけだ・ようすけ	男	稲生高校	第42回全国JOCジュニアオリンピックカップ 夏季水泳競技大会 9～11歳男子 1m飛板飛込	優勝者の監督	令和元年8月22日 ～ 令和元年8月25日	大阪府	第2条3号ア	3年連続 優秀選手 春日選手の監督
2	レスリング	橋爪 幸彦	はしづめ・ゆきひこ	男	朝明高校	第74回国民体育大会 レスリング競技 成年男子フリースタイル 57kg級	優勝者の監督	令和元年9月28日 ～ 令和元年10月1日	茨城県	第2条3号ア	3年連続 優秀選手 藤田選手の監督

優秀監督賞(表彰規程第2条第2号関係)

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	水泳	鈴木 美保	すずき・みほ	女	日本 (みえA.S.C)	第1回FINA AS世界ユース選手権大会	国際大会 出場者の 監督	令和元年8月28日 ～ 令和元年9月1日	スロバキア	第2条2号イ	優秀選手 稲田選手・島田選手の監督
2	ヨット	杉谷 典明	すぎたに・のりあき	男	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	第74回国民体育大会 セーリング競技 成年女子 レーザーラジアル級	優勝者の監督	令和元年9月29日 ～ 令和元年10月2日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 多田選手の監督
3	カヌー	濱口 洋輔	はまぐち・ようすけ	男	四日市カヌークラブ (桑名西高校)	令和元年度日本カヌー選手権大会 女子カナディアンシングル 500m・200m	優勝者の監督	令和元年8月19日 ～ 令和元年8月22日	山梨県	第2条2号ア	優秀選手 日沖選手の監督 ※平成30年度
4	陸上競技	川西 剛志	かわにし・たけし	男	亀山市立中部中学校	第46回全日本中学校陸上競技選手権大会 男子200m	優勝者の監督	令和元年8月21日 ～ 令和元年8月24日	大阪府	第2条2号ア	優秀選手 中山選手の監督
5	陸上競技	南 幸裕	みなみ・ゆきひろ	男	稲生高校	秋父宮賜杯 第72回全国高等学校陸上競技対校選手権大会 男子円盤投	優勝者の監督	令和元年8月4日 ～ 令和元年8月8日	沖縄	第2条2号ア	優秀選手 三井選手の監督
6	陸上競技	服部寿美恵	はつとり・すみえ	女	大幡学園高校	第54回全国高等学校定時制通信制陸上競技大会 男子三段跳	優勝者の監督	令和元年8月9日 ～ 令和元年8月12日	東京都	第2条2号ア	優秀選手 岡選手の監督
7	体操	外村 和才	そとむら・かずとし	男	相好体操クラブ	第50回全国中学校体操競技選手権大会 女子平均台	優勝者の監督	令和元年8月23日 ～ 令和元年8月24日	京都府	第2条2号ア	優秀選手 岡村選手の監督
8	体操	伊地知慶之	いちち・よしゆき	男	相好体操クラブ	2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 女子Aクラス 個人総合・平均台	優勝者の監督	令和元年8月12日 ～ 令和元年8月13日	神奈川県	第2条2号ア	優秀選手 鈴木選手の監督
9	体操	桑名 勇希	くわな・ゆうき	男	相好体操クラブ	2019全日本ジュニア体操競技選手権大会 男子Aクラス あん馬	優勝者の監督	令和元年8月12日 ～ 令和元年8月13日	神奈川県	第2条2号ア	優秀選手 西村選手の監督
10	レスリング	宇野 勝彦	うの・かつひこ	男	四日市ジュニアレスリングクラブ	令和元年度第45回全国中学生レスリング選手権大会 女子の部 42kg級	優勝者の監督	令和元年6月8日 ～ 令和元年6月9日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 眞柄選手の監督 ※平成29年度
11	レスリング	奥野 竜司	おくの・りゅうじ	男	一志ジュニアレスリング教室 (伊勢工業高校)	令和元年度第45回全国中学生レスリング選手権大会 女子の部 50kg級	優勝者の監督	令和元年6月8日 ～ 令和元年6月9日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 森川選手の監督 ※平成21年度
12	レスリング	伊藤 一也	いとう・かずや	男	松阪レスリングクラブ (松阪工業高校)	令和元年度第36回全国少年少女レスリング選手権大会 小学生の部 6年生 65kg級	優勝者の監督	令和元年7月28日	和歌山県	第2条2号ア	優秀選手 菊池選手の監督

No.	競技名	名前	ふりがな	性別	所属	大会名・種目	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
13	レスリング	弓矢 完二	ゆみや・かんじ	男	いなべレスリングクラブ (いなべ市役所)	令和元年度第45回全国中学生レスリング選手権大会 男子の部 68kg級	優勝者 の監督	令和元年6月8日 ～ 令和元年6月9日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 神谷選手の監督 ※平成26年度
14	レスリング	箕浦 健太	みのうら・けんた	男	久居高校	レスリング競技 少年男子フリースタイル 55kg級	優勝者 の監督	令和元年9月28日 ～ 令和元年10月1日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 弓矢選手の監督 ※平成27年度
15	レスリング (高体連)	藤波 俊一	ふじなみ・としかず	男	いなべ総合学園高校	令和元年度全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会	優勝者 の監督	令和元年7月29日 ～ 令和元年8月1日	熊本県	第2条2号ア	優秀選手 古瀬選手・藤波選手の監督
16	ウエイトリフティング	平井 一正	ひらい・かずまさ	男	名古屋産業大学	第11回全日本女子選抜ウエイトリフティング選手権大会 64kg級	優勝者 の監督	令和元年11月22日 ～ 令和元年11月23日	鹿児島県	第2条2号ア	優秀選手 山本選手の監督
17	ウエイトリフティング	松本良由喜	まつもと・よしゆき	男	津市役所	第74回国民体育大会 ウエイトリフティング競技	優勝者 の監督	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月6日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 山門選手・石井選手・大塚選手の監督
18	ウエイトリフティング	宮崎 彰也	みやざき・あきなり	男	四日市工業高校	令和元年度第18回全国女子中学生ウエイトリフティング選手権大会 40kg級	優勝者 の監督	令和元年8月8日 ～ 令和元年8月9日	山梨県	第2条2号ア	優秀選手 野間選手の監督 ※平成25年度
19	馬術	中村 洋子	なかむら・ようこ	女	北勢ライディングファーム	第74回国民体育大会 馬術競技 成年男子 タービー	優勝者 の監督	令和元年9月29日 ～ 令和元年10月3日	茨城県	第2条2号ア	優秀選手 中村選手の監督

特別優秀チーム賞(表彰規程第2条第3号関係)

No.	競技名	チーム名	大会名	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考 (名簿別紙)
1	ラグビーフットボール	PEARLS	太陽生命ウイメンズセブンズシリーズ2019 第2戦 東京大会	優勝	令和元年5月18日 ～ 令和元年5月19日	東京都	第2条3号ア	監督2名 選手12名 ※3年連続

優秀チーム賞(表彰規程第2条第2号関係)

※＝特別優秀チーム受賞団体

No.	競技名	チーム名	大会名	成績	開催期間	開催地	該当規程条項	備考
1	ボウリング	三重県選抜(女子シニア)	第52回全日本シニアボウリング選手権大会 女子シニア部門 2人チーム戦	優勝	令和元年6月21日 ～ 令和元年6月23日	愛知県	第2条2号ア	監督兼選手1名 選手1名
2	ボウリング	三重県選抜	第74回国民体育大会 ボウリング競技 成年女子 団体戦(2人チーム)	優勝	令和元年10月2日 ～ 令和元年10月7日	茨城県	第2条2号ア	監督1名 選手2名
3	サッカー	伊賀フットボールクラブくノ一	第74回国民体育大会 サッカー競技 女子	優勝	令和元年9月29日 ～ 令和元年10月2日	茨城県	第2条2号ア	監督兼選手1名 選手15名 ※平成30年度
4	テニス	三重県選抜	第74回国民体育大会 テニス競技 成年男子	優勝	令和元年9月29日 ～ 令和元年10月2日	茨城県	第2条2号ア	監督1名 選手2名
5	フェンシング	三重県選抜	第74回国民体育大会 フェンシング競技 成年男子エペ	優勝	令和元年10月4日 ～ 令和元年10月7日	茨城県	第2条2号ア	監督兼選手1名 選手2名
6	ラグビーフットボール	三重県選抜	第74回国民体育大会 ラグビーフットボール競技 成年男子	優勝	令和元年9月30日 ～ 令和元年10月1日	茨城県	第2条2号ア	監督兼選手1名 選手10名

スポーツ優良団体賞(表彰規程第2条第4号関係)

No.	団体名	功績	該当規程条項	備考
1	四日市水泳協会	各競技種目(競泳・水球・AS・飛込)の競技力向上に向けての強化活動の取り組みと、幅広い年齢層の方々が高齢者維持増進への生涯スポーツとして参加できるイベント・大会・普及活動を行っており、地域社会へ貢献されている。	第2条4号	
2	四日市市バドミントン協会	永年に渡り、選手の競技力向上への取り組みや大会の開催、実技講習会の開催等の活動を行うことで、バドミントン競技の普及・選手の育成強化、指導者養成等に取り組み、また生涯スポーツの普及にも取り組み、地域社会へ貢献されている。	第2条4号	
3	NPO法人四日市サッカー協会	永年に渡り、選手の競技力向上への取り組みや各種大会・実技講習会の開催を行い、四日市市におけるサッカー競技の普及と選手の育成、また生涯スポーツの普及にも取り組み、地域社会へ貢献されている。	第2条4号	



## 鈴鹿スポーツガーデン施設利用促進事業

### 令和元年度 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の初年度にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が策定した「スポーツ推進計画」に基づき、県営スポーツ施設の役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため諸事業を積極的に推進した。

#### 1 利用の拡大・促進の取り組み

##### (1) 利用者サービスの向上

- ① 全施設、下記のとおり営業を行った。

施設名	4月～11月	12月～3月
全施設（水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館）	9:00～22:00	9:00～21:00

※令和元年10月1日から令和2年3月14日までサッカー・ラグビー場第3グラウンドは人工芝張替工事のため休業した。

- ② 休業日を原則月1回(8月は無し)とし、7月と12月に3日間集中的にメンテナンスを行うことで開館日数を増やした。また、各施設において大会開催日であっても大会終了後に可能な限り営業時間内で一般開放を行った。
- ③ 大会や専用使用時のスムーズな運営を支援するため、利用に関する事前調整及び営業時間前の特別開場を行った。
- ④ 通常時に来場者アンケートを実施し、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集した。集約した意見を全職員で検討し、速やかに対応できるものは実行し、施設改修など三重県体育協会グループで対応できない要望については県へ報告した。
- ⑤ 最寄のバス停留所である「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から本施設敷地内へ本協会独自で土曜・日曜・祝日を中心に無料シャトルバスを運行し利用者の利便性の向上に取り組んだ。本年度の利用人数は、合計で1,596人となっている。
- ⑥ 指定管理者として削減した経費は、施設整備及び備品整備を実施して利用者へ還元し、営業努力による収支差について全て修繕に充当して施設の健全維持に取り組んだ。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月26日(水)から主催事業であるスポーツ教室を休講した。

##### (2) 利用促進活動

- ① リピーターに対するサービスの一環として、プール及び体育館トレーニング室で利用できる定期券の販売を行った。
- ② 期間限定サービスの実施
- ア 通常の定期券にはない特典付きのウインターパスポートの販売を行いリピーター率の増加を図った。
- イ 夏休み及び冬休み期間において、通常期は持ち込みが禁止されている浮輪などは、規定の範囲内での持ち込みを許可し、子どもたちが楽しんでプールを利用できる環境を提供した。
- ③ PR活動の実施
- ア 関係自治体に依頼し、イベントスケジュールやスポーツ教室開催等の情報提供を行う

- とともに、スポーツ教室の折り込み広告を行った。
- イ スポーツ指導者講習会及びスポーツ講習会などの一般参加型イベントはホームページや場内に掲出した。
- ウ 施設要覧を作成し、関係機関へ配布した。
- エ 自治体広報への掲載依頼を積極的に行い地域住民への周知に取り組んだ。
- オ 地元地域を中心としたフリーペーパーを活用して情報発信を行った。
- ④ スポーツマンハウス鈴鹿との連携により、大会や合宿などにおける利便性を活かしてスポーツの拠点施設としての利用促進を図った。
- ⑤ 企業の福利厚生施設としての利用として、互助会との提携を行い利便を図った。
- ⑥ シニア層のテニス愛好者の利用拡大と継続利用のため、シニアテニス大会の運営を支援した。
- ⑦ ジュニアテニス選手育成のため、クラス別によるテニスアカデミー教室を通年教室として実施した。
- ⑧ 健康志向によるランニングブームに対応しシニア層や初心者向けの教室を開催した。
- ⑨ 施設 PR 及び新規顧客開拓の一環として、フリーマーケットの開催を行なった。
- ⑩ ウォーキングコースの案内看板を一新し利用者に使いやすい環境を整えるとともに、クロスカントリーコースの整備を行うなどして県民の健康保持増進に向けたサービスの充実を図った。

## 2 主催事業

### (1) ガーデンカップ

本協会加盟の競技団体と連携し、多くの県民が気軽に誰でもが参加できるようガーデンカップを実施した。

- ① ソフトテニス（小学生）  
期 日：令和元年8月4日（日）  
対 象：小学生  
参加人数：17 チーム
- ② ソフトテニス（中学生）  
期 日：令和元年8月5日（月）  
対 象：中学生  
参加人数：200 ペア
- ③ ソフトテニス（高校生）  
期 日：令和元年8月2日（金）  
対 象：高校生  
参加人数：68 校
- ④ ソフトテニス（一般）  
期 日：令和元年8月4日（日）  
対 象：一般  
参加人数：58 ペア
- ⑤ ラグビーフットボール（7人制）  
期 日：令和元年8月3日（土）  
対 象：大学生、一般  
参加人数：56 人
- ⑥ 水泳  
期 日：令和元年9月29日（日）

対 象：50m以上の泳力がある者

参加人数：219人

⑦ テニス

期 日：令和2年2月22日（土）23日（日）、29日（土）3月1日（日）

対 象：一般、シニア（45歳以上、55歳以上、65歳以上男子）

参加人数：335人

⑧ フットサル

期 日：令和元年10月22日（火・祝）

対 象：小学生（12歳以下）

参加人数：200人

⑨ サッカー

期 日：令和元年12月8日（日）

対 象：U13

参加人数：220人

## （2）スポーツフェスタ'19

競技団体や関係団体の協力を得て施設利用の皆様への感謝とともに更なるスポーツの普及振興を目的として各施設の無料開放、参加型イベント、健康チェックや文化的な催しなどを実施した。

参加者総数：3,371人

期 日：令和元年10月14日（月・祝日）

① 水泳場

施設無料開放、体験会（水球・アーティスティックスイミング・スポーツウェルネス吹矢）、レスキュースイム、タイム測定会、フォーム撮影会、体力測定会、バックヤードツアー、ガーデン迷路、ぶんぶんバウンドボール、教室発表会、アーティスティックスイミングデモンストレーション

② 庭球場

コート無料開放、サーブスアタッカー、テニスアカデミー体験会

③ サッカー・ラグビー場

交流ゲーム（サッカー・タグラグビー）、体験会（フライングディスク、アーチェリー、クライミング）

④ 体育館

卓球・バドミントン及びトレーニング室無料開放、キッズスペース、フリースローゲーム、ミニフリーマーケット、みに縁日、体験会（わたがし作り・ニュースポーツ・プラズマカー・布ぞうり作り・ハロウィン工作作り）

⑤ 全館スタンプラリー

## （3）指導者講習会

県内競技力向上の一環として、特定競技の指導者を対象として著名な指導者を招へいし、指導方法及び指導力向上を目的とした講習会を実施した。

① テニス

開催日：令和元年11月2日（土）

競 技：テニス

講 師：植田 実氏（日本テニス協会常務）

内 容：スポーツ指導者講習会

参加人数：44人

#### (4) スポーツ講習会

スポーツに取り組む機会の提供として、スポーツ講習会を実施した。

① 第1回クライミング体験会

開催日：令和元年5月6日（月・祝）

内 容：クライミングの体験（一般）

参加人数：3人

② 第1回クライミング講習会

開催日：令和元年5月18日（土）、19日（日）

内 容：クライミング講習

参加人数：6人

③ 第2回クライミング体験会

開催日：令和元年9月7日（土）、8日（日）

内 容：クライミングの体験（一般）

参加人数：21人

④ 第2回クライミング講習会

開催日：令和元年9月28日（土）、10月20日（日）

内 容：クライミング講習

参加人数：13人

⑤ 第1回ジュニアクライミング体験会

開催日：令和元年9月7日（土）、8日（日）

内 容：ジュニア体験会

参加人数：33人

⑥ アーチェリー教室

開催日：令和元年5月19日（日）、6月16日（日）、7月28日（日）、8月4日（日）、  
9月22日（日）

内 容：アーチェリー体験

参加人数：38人

⑦ トレイルランニング

開催日：令和2年1月5日（日）

講 師：辻 友寛氏

内 容：トレイルランニング講習会

参加人数：28人

#### (5) スポーツ教室

スポーツガーデン内の各施設を活用して多種多様なスポーツ教室を開催した。

開催講座数：通年講座 356 講座、短期教室 82 講座（合計 438 講座）

延べ参加人数：通年講座 29,784 人、短期教室 4,253 人（合計 34,037 人）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月26日（水）から主催事業であるスポーツ教室を休講した。

#### (6) スポーツサークル支援

テニスコートの定期利用者の拡大を目的として、サークルの登録制度を設け、使用料の一括精算制度や継続利用のための環境整備を行うなどサークル活動の支援を行った。

サークル登録数：148 団体

## (7) ワンポイントレッスン

入場券のみで参加できる、水泳ワンポイント、水中運動ワンポイントレッスン等を通年で実施した。

- ① 水泳 (25m) :19回 201人
  - ② 水泳 (50m) :32回 365人
  - ③ 水中運動 :15回 176人
  - ④ レスキュースイミング :6回 21人
  - ⑤ トレーニング :26回 75人
- (総合計 838人)

## (8) 着衣泳体験教室

日本赤十字社と共催による体験教室を実施した。

開催日：令和元年6月2日（日）

講師：原 正憲氏（日赤）

内容：着衣泳講習会

参加者：37人

## (9) 健康増進事業への協力

三重県と市町が連携して実施している「健康マイレージ制度」（三重とこわか健康マイレージ事業）の普及のために本施設をマイレージ特典協力店に登録し、健康増進事業への協力を努めた。

## (10) 初泳ぎ・初打ち

新年1月2日に水泳場並びに体育館にて初泳ぎ・初打ちイベントを開催した。

水泳場：初泳ぎ 参加人数 150人

体育館：初打ち 参加人数 227人

## 3 諸会議の開催

### (1) 利用調整会議

競技施設として大会等の円滑な運営に向けて、関係競技団体等の参加のもと、使用期日の調整会議を開催した。

水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館：令和2年1月22日（水）

### (2) 所内会議・主任会議

所内会議・主任会議を原則毎月実施し、年度当初に計画した事業計画進捗度の確認と利用者の皆様から頂戴した苦情・要望に対する対処、施設運営に係る事項について協議した。

## 4 施設管理

### (1) 日常点検

利用者に対して、良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃・始業前点検・器具備品点検・施設点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設あるいは器具の使用中止の対応を取り、異常箇所の点検と必要に応じた修理を速やかに行った。

## (2) 月次点検

4 施設（水泳場・庭球場・サッカー・ラグビー場・体育館）職員による、月次の設備備品の点検を行い、物品数の確認と正常動作の確認を行った。

## 5 リスクマネジメント

### (1) 消防避難訓練

災害発生時を想定した訓練を6月及び12月の場内整備時に職員・業務委託業者を交えて行った。訓練では火災が発生したと想定し、消火用具を実際に用いて消火活動を行った。器具の使用方法を確認することで、実際の現場で使える技術を習得し、職員全員が危機管理意識の再確認と職員のリスクマネジメントに対する認識を強化した。

### (2) 危機管理マニュアルの作成

職員・業務委託業者の緊急時連絡体制の整備及び緊急時・災害発生時に備えるための危機管理マニュアルを改訂し、業務委託事業者を含め全職員に配布し緊急時の対応に備えた。本年度、新型コロナウイルス感染症にかかる対応マニュアルを追加した。

## 6 施設整備

### (1) 県直轄の施設整備として主に下記の補修・改修が実施された。

サッカー・ラグビー場／第3グラウンド人工芝張替  
サッカー・ラグビー場／得点ボードLED化

### (2) 独自整備として自己財源で備品整備並びに補修・改修工事を実施した。

水泳場/冷風機購入（3台）  
水泳場/百葉箱更新  
水泳場/サブプールワイアレスシステム修繕  
水泳場/メインプール地下ビット鉄蓋修繕  
水泳場/メインプール2号ろ過ポンプ修繕  
水泳場/空調設備新設に伴う中央監視装置制御取替  
水泳場/メインプールオゾン発生装置インバータ修繕  
水泳場/サブプールろ過ポンプ整備  
水泳場/メインプール滅菌材注入ポンプ交換  
水泳場/メインプール遮光ラダー修繕  
水泳場/プール地下大型シャッター修繕  
水泳場/プールろ過逆洗水ポンプ取替  
水泳場/メインプールろ過機自動弁取替  
水泳場/飛込プールPAC貯槽取替  
庭球場/管理棟空調機器新設  
庭球場/シェルターコート投光器交換  
庭球場/シェルターコート遮光ネット張替  
庭球場/屋外テニスコート人工芝部分修繕  
サッカー・ラグビー場/空調機器更新  
サッカー・ラグビー場/電動ライン引き機購入  
サッカー・ラグビー場/メイングラウンド・第1・第2グラウンド芝張替

体育館/空調機器オイル漏れ修繕  
 体育館/ビット排水ポンプ配管修繕

### (3) 修繕計画の要望

優先順位を定め県へ施設整備の要望を行うために、中・長期的整備計画を策定した。

## 7 利用人数及び利用料金収入

年度	施設	利用人数	H30 年度比較	利用料収入	H30 年度比較
H30 年度	水泳場	257,821 人		48,887,930 円	
	庭球場	113,602 人		22,519,000 円	
	サッカー・ラグビー場	124,115 人		14,292,420 円	
	体育館	88,420 人		19,289,520 円	
	合計	583,958 人		104,988,870 円	
R 元年度	水泳場	218,921 人	△38,900 人	49,378,300 円	490,370 円
	庭球場	92,525 人	△21,077 人	20,356,150 円	△2,162,850 円
	サッカー・ラグビー場	110,059 人	△14,056 人	9,988,740 円	△4,303,680 円
	体育館	76,112 人	△12,308 人	17,318,660 円	△1,970,860 円
	合計	497,617 人	△86,341 人	97,041,850 円	△7,947,020 円

#### ◎スポーツガーデンの利用増減及び収支説明

令和元年度は世界規模で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月26日からトレーニング室の閉鎖並びにスポーツ教室を休講した。さらに、令和2年3月以降新型コロナウイルス感染症の一層の拡大により各施設で予定されていた大会がすべて中止となった。これにより本年度の利用人数・利用料収入共に前年度を下回ることとなった。利用料収入減の他の要因としては、令和3年度に開催される三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた選手強化合宿に対して三重県体育協会の事業の一環で施設利用料を全額免除したことや、サッカー・ラグビー場の第3グラウンドの人工芝張替工事に伴う利用中止が考えられる。

このような状況の中で水泳場の利用料収入が増加しているのは、平成30年度に実施されたプール水の入替とろ過装置更新工事による施設閉鎖が本年度はなかったことや、新型コロナウイルス感染症の影響による大会の中止や団体専用利用の減少により一般利用者への開放時間が増えたことなどの要因が重なったためと考えられる。

## 8 職員研修、その他

- ① 緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行えるよう職員及び委託事業所従事者が心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習終了証」の認定を受けた。
- ② 県及び関係機関が開催する各種講習会又は説明会に新人スタッフを中心に派遣し、スタッフの資質向上に努めた。

# 令和元年度三重県営鈴鹿スポーツガーデン施設利用料収入一覧

(単位:円)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場						体育館			合計														
	専用利用				個人利用	小計	屋外	シニター	センター	小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クラミング	小計	アリーナ		個人利用	体育館小計												
	メイン	サブ	飛込	会議室																	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ
4月	1,638,500	610,000	489,000	340,800	1,711,750	4,790,050	1,057,800	542,000	58,400	1,658,200	0	902,320	26,700	96,060	0	1,025,080	1,040,800	307,400	1,348,200	8,821,530												
5月	827,125	445,250	255,600	265,800	2,299,350	4,093,125	1,339,100	554,400	63,900	1,957,400	176,000	808,860	45,600	99,400	0	1,129,860	1,012,500	298,270	1,310,770	8,491,155												
6月	667,750	491,750	201,000	253,900	2,417,350	4,031,750	920,300	567,000	41,700	1,529,000	340,300	577,900	31,500	239,600	7,000	1,196,300	1,230,550	279,720	1,510,270	8,267,320												
7月	901,750	504,500	195,000	252,700	2,514,250	4,368,200	1,083,750	631,600	45,300	1,760,650	476,900	724,000	30,900	158,260	0	1,390,060	1,709,600	294,670	2,004,270	9,523,180												
8月	1,037,750	381,000	184,500	296,900	3,216,050	5,116,200	1,408,800	662,000	62,700	2,133,500	169,900	1,049,980	29,100	204,600	0	1,453,580	1,840,950	267,540	2,108,490	10,811,770												
9月	600,250	601,000	210,000	221,000	2,603,750	4,236,000	1,296,600	534,800	44,000	1,875,400	48,500	689,340	35,400	72,720	7,000	852,960	1,190,630	285,410	1,476,040	8,440,400												
10月	760,250	520,000	231,000	266,500	1,891,350	3,669,100	1,143,800	524,600	40,300	1,708,700	138,700	197,600	36,300	69,200	0	441,800	1,133,140	272,450	1,405,590	7,225,190												
11月	1,122,500	580,000	276,000	355,200	1,669,750	4,003,450	1,198,800	466,800	60,900	1,726,500	372,000	223,200	26,100	158,000	0	779,300	1,181,940	244,860	1,426,800	7,936,050												
12月	923,250	291,000	201,000	237,300	1,126,450	2,779,000	1,027,600	480,600	32,900	1,541,100	35,600	360,300	28,800	43,700	0	468,400	1,081,650	231,070	1,312,720	6,101,220												
1月	740,000	385,750	132,000	524,300	1,837,800	3,619,850	975,100	498,200	73,700	1,547,000	166,300	113,400	18,300	134,800	0	432,800	1,383,950	295,710	1,679,660	7,279,310												
2月	1,164,000	438,000	405,000	258,600	1,769,850	4,035,450	962,000	448,600	31,600	1,442,200	222,500	164,600	16,800	124,500	0	528,400	816,180	259,560	1,075,740	7,081,790												
3月	491,125	0	150,000	12,800	3,982,200	4,636,125	801,800	636,800	37,900	1,476,500	0	255,200	0	29,200	5,800	290,200	657,610	2,500	660,110	7,062,935												
年合計	10,874,250	5,248,250	2,930,100	3,285,800	27,039,900	49,378,300	13,215,450	6,547,400	593,300	20,356,150	2,146,700	6,066,700	325,500	1,430,040	19,800	9,988,740	14,279,500	3,039,160	17,318,660	97,041,850												

※収入に関する特記

特記1:水泳場電光掲示板使用料はメインプールに含む

特記2:水泳場会議室使用料には冷暖房を含む

特記3:サッカー場サブグラウンド使用料には照明使用料を含む

特記4:体育館アリーナには器具使用料、照明使用料、空調使用料を含む

特記5:サッカー・ラグビー場第3グラウンド人工芝張替工事により令和元年10月1日から令和2年3月14日まで閉鎖



# 令和元年度三重県営鈴鹿スポーツガーデン利用人数一覧表

(単位:人)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場							体育館			合計				
	専用利用				水泳場 小計	屋外	シエルター	センター	庭球場 小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライミング	サッカー場小計	アリーナ	個人 利用	体育館小計					
	メイン	サブ	飛込	会議室																テニスコート	バドミントン	バレーボール	バスケットボール
4月	9,860	3,524	1,046	2,266	23,472	5,250	2,085	408	7,743	0	6,739	250	1,532	0	8,521	2,774	2,036	4,810	44,546				
5月	4,244	2,707	822	2,180	18,710	6,710	2,200	292	9,202	3,300	6,604	313	683	40	10,940	4,238	1,973	6,211	45,063				
6月	5,933	2,619	712	2,102	20,449	5,449	2,118	309	7,876	9,600	8,244	260	1,432	15	19,551	4,898	1,918	6,816	54,692				
7月	6,925	3,353	484	2,002	21,535	5,156	2,604	203	7,963	5,300	6,385	320	787	0	12,792	6,043	1,895	7,938	50,228				
8月	5,013	1,269	610	1,860	19,653	7,992	2,998	347	11,337	1,530	8,130	355	807	0	10,822	5,154	1,969	7,123	48,935				
9月	3,718	2,196	769	1,856	17,832	6,449	2,323	217	8,989	220	5,695	295	662	81	6,953	4,681	1,888	6,569	40,343				
10月	4,369	2,261	1,018	2,143	18,050	5,284	2,141	232	7,657	1,270	2,806	260	340	15	4,691	5,024	1,857	6,881	37,279				
11月	7,644	2,400	854	2,727	20,335	4,888	1,748	210	6,846	6,170	2,550	255	493	0	9,468	6,069	1,736	7,805	44,454				
12月	5,016	1,042	1,325	1,968	14,128	4,584	2,254	224	7,062	300	3,150	0	220	0	3,670	5,487	1,654	7,141	32,001				
1月	4,562	1,251	822	2,231	15,112	4,416	2,040	334	6,790	8,845	1,530	330	705	0	11,410	6,304	1,859	8,163	41,475				
2月	8,110	2,847	1,122	2,026	19,910	3,934	1,758	107	5,799	4,955	4,244	220	430	0	9,849	2,441	1,706	4,147	39,705				
3月	1,589	0	466	165	9,735	3,270	1,895	96	5,261	0	1,097	80	205	10	1,392	2,508	0	2,508	18,896				
年合計	66,983	25,469	10,050	23,526	218,921	63,382	26,164	2,979	92,525	41,490	57,174	2,938	8,296	161	110,059	55,621	20,491	76,112	497,617				

特記1:各施設の利用者数には減免利用者を含む

特記2:プール水入替及びびろ過装置ろ材交換工事(メイン:3月5日～3月25日、サブ:12月10日～12月30日、飛込:2月1日～2月27日)

## 総合競技場施設利用促進事業

### 令和元年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の初年度であり、指定管理者の応募にあたり提案した事業計画及び三重県体育協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすため、県民のスポーツ振興に一層寄与するとともに、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を積極的に推進した。

#### 1 利用者の拡大・促進の取組

##### (1) 利用者サービスの拡充

- ① 競技場運営方針・利用目標を設け、職員一同一丸となり利用者の拡充とサービス向上に努めた。
- ② 利用者の立場に立って施設の有効利用、積極的な応対・接遇を行い業務改善・管理運営に努めた。
- ③ 利用(主催)者との大会事前打ち合わせや定期的に利用者への説明会を行い、スムーズな大会運営に努めた。
- ④ ご意見箱の設置と利用者アンケートを実施して、利用者の生の声を聞くとともに、要望や意見については、実施可能なものから取り組みを行った。
- ⑤ 陸上競技場の諸室を利用し、新たなスポーツ教室の参加者獲得に努めるとともに、各サークルに呼びかけ、クラブ化への活動支援を行った。
- ⑥ 大会の開催等や繁忙期には、休業日の積極的に開場とした。
- ⑦ 陸上競技場の補助競技場を20時30分までナイター営業を行った。また、季節に応じてナイター営業の時間を変更した。

##### (2) 利用促進について

- ① 定期的利用を図るため、伊勢市商工会議所・ライオンズクラブ・観光協会の企業訪問を行い加盟企業の従業員への利用及び福利厚生施設としての働きかけを行った。
- ② スポーツ教室については、ニーズの多い講座の追加、参加者の振り分け等により、109講座で実施した結果、2,109人の受講生となった。
- ③ トレーニングセンター利用者の利便性を図るため、引き続き「1ヶ月券・3ヶ月券」を発行するとともに、スポーツ教室参加者に無料券(1回券)を配布して、トレーニングセンターの体験と利用促進に努めた。

##### (3) 広報活動について

- ① 近隣市町への広報紙(折込みチラシ)報道機関へ利用状況及びスポーツ教室等の情報提供を行った。
- ② 行事スケジュール(競技場の主な大会一覧)を発行した。(500部×12月)
- ③ ホームページに最新の大会スケジュール及び施設予約状況を提供した。

##### (4) 職員の研修・視察

- ① 各種講習会・研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。

## 2 主催事業について

- (1) スポーツ教室については、近年の健康管理に対する意識の高まりを受けて、前期（6月～7月）・中期（10月～12月）・後期（1月～3月）の三期に分け109講座を実施し、2,109人の参加を得た。
- (2) 第14回総合競技場感謝フェスティバルについては、近隣住民やスポーツ愛好家の方々に施設のPRと利用者への感謝等を目的として実施した。また伊勢市による三重とこわか国体・同大会PRイベントも合わせて実施した。
  - ・期 日：令和元年11月10日（日）
  - ・会 場：陸上競技場・補助競技場他 総参加者数：約4,000人
- (3) 体力測定  
トレーニングセンターでは、希望者されるお客様に対しサービスの一環として文部科学省発行の体力テストを個人の目的と体力およびレベルに応じたトレーニングメニューを提供した。
- (4) 第11回三重県営総合競技場杯ミックスタブルスバドミントン団体戦  
競技場の冠大会として、施設活用と競技人口の拡大を目的とした大会を実施した。
  - ・期 日：令和元年10月6日（日） 参加者：35チーム205人

## 3 施設管理・リスク対策について

- (1) 利用者に対し良質な施設環境を提供するため、委託業務による点検に立ち会うとともに、設備の定期点検以外に、巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (2) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制を強化した。リスク対策強化として救急講習等に参加し、職員の認識向上を図った。
- (3) 大会や自主事業開催時を想定し、伊勢市消防本部と共同で総合的な消防訓練を実施した。
- (4) テロ対策への講習会及び実施訓練講習会等に参加し、予防の仕方を体得した。また、テロ対策伊勢地区パートナーシップ「みテますキープ制度」モデル事業所として推進事業をすすめた。
- (5) 10月の台風19号による体育館地下室の浸水等の被害時には、2年前の教訓を生かした早急な対応により大きな被害を事前に防止することができた。また、その後の調査により原因をつきとめ改修することができた。

## 4 施設整備

- ・ 体育館周辺排水口の改修（2カ所）
- ・ 西駐車場アスファルトの修理（落雷による破損）
- ・ 多目的広場北トイレ周辺の整備
- ・ バックスタンドトイレ給水口の改修
- ・ バックスタンド雨漏りの改修
- ・ 陸上競技器具修理
- ・ 補助競技場写真判定室の改修
- ・ 台風による体育館本館地下電気機器の修理・交換
- ・ 体育館空調気圧装置の修理
- ・ 消火器取替え2本

- ・ 台風によるトレーニングセンター破風の修理
- ・ トレーニング機器の修理等
- ・ トレーニングセンターインクラインベンチの購入

## 5 その他

本年度も恒例の第13回美し国三重市町対抗駅伝が2月16日（日）に開催され、本競技場がゴール地点となった。14市と15町に6市のオープン参加を加えた全35チームがそれぞれの襷をつなぎ大盛況の大会となった。また、選手を激励するため、県内より多くのチーム関係者・観客が詰め掛け大いに盛り上がった。

また、陸上競技場前駐車場では県内の特産品を集めた物産市が開かれ、観客、地域住民が多く訪れ、大いに賑わいを見せた。

## 6 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		H30年度比較	利用料収入	H30年度比較
H30年度	競技場	390,604人		14,283,530円	
	体育館	115,412人		17,992,150円	
	トレーニングセンター	51,055人		9,861,680円	
	合計	557,071人		42,137,360円	
R元年度	競技場	241,965人	△148,639人	11,485,697円	△2,797,833円
	体育館	93,096人	△22,316人	16,776,000円	△1,216,150円
	トレーニングセンター	45,550人	△5,505人	8,667,290円	△1,194,390円
	合計	380,611人	△176,460人	36,928,987円	△5,208,373円

### ◎ 総合競技場の利用増減収説明

平成30年度は、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）があり、本年度と比較すると利用者数・収益ともに減となった。年度末には新型コロナウイルスの影響で3月に予定していた大会・強化合宿等がキャンセルになりさらに大きな影響を受けた。

体育館についても、年度末の新型コロナウイルスの影響により4つの大きな大会のキャンセルが減収の原因となった。

トレーニングセンターは、2月までは目標通りの数値であったが、新型コロナウイルスの影響で3月1日より閉館の措置をとったため、減収となっている。

令和元年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 利用人数一覧表

(単位:人)

	陸上競技場					体育館				トレーニングセンター	合計	
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室			小計
4月	4,317	263	7,495	75	1,806	13,956	2,910	1,805	253	4,968	3,966	22,890
5月	1,442	531	11,017	1,076	2,503	16,569	4,290	2,119	206	6,615	4,138	27,322
6月	19,027	376	5,771	290	3,141	28,605	8,112	2,497	320	10,929	4,347	43,881
7月	22,917	11	7,511	462	3,658	34,559	7,967	2,139	310	10,416	4,781	49,756
8月	14,064	1,075	13,769	1,254	2,226	32,388	11,115	2,817	323	14,255	4,414	51,057
9月	9,132	208	8,262	1,361	3,345	22,308	6,261	2,547	260	9,068	4,298	35,674
10月	12,000	303	5,551	8,520	2,964	29,338	4,149	1,740	162	6,051	4,353	39,742
11月	8,120	117	2,947	120	3,786	15,090	6,857	2,440	335	9,632	3,925	28,647
12月	1,952	570	3,867	809	2,261	9,459	4,129	2,227	215	6,571	3,628	19,658
1月	530	308	1,497	110	2,147	4,592	2,459	1,267	15	3,741	3,681	12,014
2月	25,600	160	2,039	309	2,755	30,863	4,577	2,691	230	7,498	4,019	42,380
3月	31	74	3,544	166	423	4,238	1,856	1,471	25	3,352	0	7,590
合計	119,132	3,996	73,270	14,552	31,015	241,965	64,682	25,760	2,654	93,096	45,550	380,611

令和元年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 施設使用料一覧表

(単位:円)

	陸上競技場					体育館				トレーニングセンター	合計	
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室			小計
4月	256,630	22,030	490,410	5,000	420,200	1,194,270	733,170	352,680	234,560	1,320,410	757,720	3,272,400
5月	169,350	27,250	656,650	40,000	33,000	926,250	798,510	446,180	72,770	1,317,460	838,930	3,082,640
6月	785,960	19,460	265,910	5,000	90,800	1,167,130	890,690	317,640	90,300	1,298,630	803,800	3,269,560
7月	1,023,000	2,350	382,790	34,000	384,700	1,826,840	1,641,610	554,070	107,940	2,303,620	930,190	5,060,650
8月	438,480	82,690	473,870	39,020	326,900	1,360,960	1,995,370	660,790	153,820	2,809,980	875,230	5,046,170
9月	523,460	21,650	505,040	135,897	263,200	1,449,247	965,670	483,390	26,370	1,475,430	799,680	3,724,357
10月	274,360	10,540	142,940	15,000	71,800	514,640	602,350	310,760	41,760	954,870	802,880	2,272,390
11月	144,100	10,520	141,310	5,000	595,600	896,530	703,150	367,080	104,580	1,174,810	739,410	2,810,750
12月	169,520	34,560	173,310	35,000	254,500	666,890	817,540	373,970	45,690	1,237,200	604,120	2,508,210
1月	151,480	16,350	135,610	12,700	153,300	469,440	597,370	247,110	1,890	846,370	742,680	2,058,490
2月	104,060	15,110	109,090	20,000	182,800	431,060	672,620	432,500	78,550	1,183,670	772,650	2,387,380
3月	8,320	12,820	471,300	37,000	53,000	582,440	452,990	398,040	2,520	853,550	0	1,435,990
合計	4,048,720	275,330	3,948,230	383,617	2,829,800	11,485,697	10,871,040	4,944,210	960,750	16,776,000	8,667,290	36,928,987

## 鈴鹿青少年センター施設利用促進事業 令和元年度 三重県立鈴鹿青少年センター事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の2年目にあたり、指定管理者で提案した事業計画に則り、社会教育施設としての役割を果たすため、各種事業に取り組み、かつ、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を実施した。

なお2月以降に新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的とした利用団体のキャンセルが相次いだため受入事業の実績が前年度を大幅に下回った。

### 1 受入事業

#### ・利用状況（※は指定管理者評価項目）

延利用人数 65,927 人（前年度△8,311 人）※目標値：73,300 人

一日研修利用人数 15,491 人（前年度比△2,982 人）

延宿泊人数 25,879 人（前年度比△5,588 人）

定員稼働率 22.19% ※目標値：26.5%

団体数 852 団体（前年度△91 団体）

### 2 利用者の拡大・促進

#### （1）利用者サービスの充実

- ① 鈴鹿青少年センター運営方針・利用目標を設けて、利用者サービス拡大に努めた。
- ② 繁忙期及び利用団体に応じて休業日の営業（4月～8月）を行った。
- ③ 利用者アンケートに基づく施設改修のハード整備を実施。また、対応可能な箇所から改善を行いサービスの向上に努めた。
- ④ 出前事業や体験活動サポート事業に職員を講師として派遣し、体験活動の場を提供しながら、施設と伝統産業のPR等を行った。

#### （2）広報及び利用促進活動について

- ① 各種事業とイベントについて、市内を中心とした広報紙に情報提供を行った。（スキップ、きらきら等）
- ② 各種主催事業チラシを独自で作成し、市内小中学校、各市町教育委員会、近隣コミュニティセンター及び鈴鹿、津、四日市の県庁舎へ設置や配布依頼を行うとともに、県政記者クラブへも資料提供を行った。
- ③ 近隣市町広報紙への主催事業募集掲載を行った。（鈴鹿市・亀山市）
- ④ 関係団体が開催するイベントに体験ブースを出展し、施設と伝統産業のPRを行った。
- ⑤ 当施設のホームページで事業やイベント案内に加え、ブログを通じて主催事業などの活動報告の情報を発信した。
- ⑥ 鈴鹿市及び津市教育委員会を通じ、両市の小中学校校長会への施設利用依頼を行った。
- ⑦ 東海3県の競技団体へ文書により施設利用依頼を行った。
- ⑧ 県立高等学校、特別支援学校及び地元の事業所へ文書により施設利用依頼を行なった。

#### （3）職員研修

東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会へ参加した。

#### （4）その他

##### ①三重まるごと自然体験ネットワークへの参画

平成28年に設立された「三重まるごと自然体験ネットワーク」へ参画し、青少年センターで実施可能な体験活動の情報の入手や主催事業時に所外で活動するプログラムの情報を入手できる体制を確保した。

## ②県教委事務局社会実験への協力

鈴鹿青少年の森公園及び当センターの利活用策の検証を目的とする社会実験であるマルみえフェスタ、ジャパンコーヒーフェスティバルの出展者の施設利用対応など協力した。

### 3 主催事業

新型コロナウイルス感染防止のため、2月下旬以降実施予定の主催事業は中止した。

#### (1) 創作活動事業

- ① 実施期日：年間随時
- ② 参加人数：3,927人
- ③ 内 容：センター利用者の希望に応じて、伊勢型紙や焼き杉などの活動支援を行った。

#### (2) 親子アウトドア体験

- ① 実施期日：令和元年5月26日（日）
- ② 参加人数：36人
- ③ 内 容：親子で災害時にも役立つ野外活動を体験した。午前空き缶を利用したアウトドアクッキングを、午後防災クイズや消火器体験などの防災教室を行なった。

#### (3) キッズチャレンジスポーツ【前期・後期】

- ① 実施期日：令和元年5月22日～2年2月26日【全24回】  
※3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止。
- ② 延べ参加人数：475人
- ③ 内 容：小学生を対象に、地元のハンドボールチームである三重バイオレットアイリスの協力を得て、毎回2時間程度ハンドボールの実技を体験した。

#### (4) 4校交流宿泊事業

- ① 実施期日：令和元年7月1日（月）～2日（火）
- ② 参加人数：148人
- ③ 内 容：鈴鹿市内の4小学校を対象とした宿泊研修を行い、他校の子どもたちと協力して集団として活動することを学ぶ機会を提供した。

#### (5) 単級学級交流会

- ① 実施期日：令和元年7月3日（水）～4日（木）
- ② 参加人数：138人
- ③ 内 容：単級学級校を対象とした合同集団宿泊学習として実施し、他校の生徒とコミュニケーションを図ることをとおして社会性などを身につける場を提供した。

#### (6) 異世代交流事業

- ① 実施期日：令和元年7月29日（月）
- ② 参加人数：26人
- ③ 内 容：鈴鹿市環境政策課と共催で、小学生とその父母や祖父母がともに環境問題について考える「楽しく学ぼう！親子環境教室」を実施した。地球温暖化防止啓発ビデオ上映、自然素材を使った木工クラフトを体験した。

#### (7) 野外活動体験研修

- ① 実施期日：令和元年8月6日（火）
- ② 参加人数：5人
- ③ 内 容：野外活動の体験研修をすることで指導者の育成に取り組むとともに、当センターの主催事業をサポートするボランティアを育成するための研修を行なった。

#### (8) レッツ・チャレンジ2019

- ① 実施期日：令和元年8月21日（水）～24日（土）、11月17日（日）
- ② 延べ参加人数：61人



- ③ 内 容：自然の中で年齢の異なる子どもたちが共同生活をしながらいろいろな体験活動にチャレンジすることで自然の素晴らしさを知り、自然に対する理解や愛情を育てることを目的としたロングキャンプを開催した。11月には同じ参加者を対象として熊野古道馬瀬峠の登山に挑戦し、仲間と協力し合って登山をやりとげる体験をした。

#### (9) 子ども体験遊びリンピック in みえ

- ① 実施期日：令和元年10月6日（日）  
② 参加人数：150人  
③ 内 容：三重県青少年施設協議会に加盟する3施設の合同イベントとして、国立青少年教育振興機構の実施する「体験活動月間」にあわせて競技性のある体験イベントを開催した。

#### (10) 絆キャンプ

- ① 実施期日：令和元年10月8日（火）～9日（水）  
② 参加人数：7人  
③ 内 容：桑名適応指導教室に参加する子どもたちを対象とした宿泊研修を共同で開催し、運営をサポートした。

#### (11) 親子サバイバルキャンプ

- ① 実施期日：令和元年10月26日（土）～27日（日）  
② 参加人数：46人  
③ 内 容：親子で1泊2日のテント泊などのサバイバル活動を行なって、自然の中での活動での成功体験や親子の絆を深める活動を行なった。

#### (12) 大人の学校シリーズ I

- ① そば打ち講座  
ア. 実施期日：令和元年10月29日（火）  
イ. 参加人数：26人  
ウ. 内 容：そば粉から手打ちそばを作成し出来たてのそばを食べる講座として開催し、参加者の交流の場を提供した。  
② ウォーキング講座  
ア. 実施期日：令和元年10月31日（木）、11月7日（木）  
イ. 延べ参加人数：30人  
ウ. 内 容：誰でも気軽に参加できるウォーキングを体験し、正しい姿勢で歩くことの効用を理解して、ウォーキングの習慣化に挑む体験をした。

#### (13) ウィンターアドベンチャー

- ① 実施期日：令和元年12月7日（土）～8日（日）  
② 参加人数：48人  
③ 内 容：小学校4年生から中学校2年生を対象に、スタッフのサポートを受けながら様々な体験活動を行い、協調性や自主性を育成する機会を提供した。

#### (14) わくわくファミリーキャンプ

- ① 実施期日：令和2年1月11日（土）～12日（日）  
② 参加人数：42人  
③ 内 容：小学生、中学生とその保護者を対象に、親子で行なう創作活動や野外炊飯等を体験して家族や参加者が協力して目的を達成する経験をした。

#### (15) おもしろ自然科学教室

- ① 実施期日：令和2年1月18日（土）、25日（土）、2月1日（土）  
② 延べ参加人数：56人

- ③ 内 容：毎回違うテーマに基づいた実験や科学の原理を用いた製品づくりをすることで科学に興味のある子どもの育成を図った。

#### (16) 大人の学校シリーズⅡ

##### ① そば打ち講座

ア. 実施期日：令和2年2月4日（火）、2月7日（金）

イ. 延べ参加人数：41人

ウ. 内 容：そば粉から手打ちそばを作成し出来たてのそばを食べる講座として開催し、参加者の交流の場を提供した。

##### ② 篆刻と水墨画講座

ア. 実施期日：令和2年2月6日（木）、13日（木）

イ. 延べ参加人数：40人

ウ. 内 容：成人対象の講座として、篆刻を字体からデザインし作成するのとあわせて簡単な水墨画を描く体験をした。

#### (17) 出前・イベント出展等

##### ① 体験活動サポート事業

依頼を受けて職員を派遣し、創作活動の出前事業を行った。

ア. 津市立修成小学校

実施期日：令和元年6月11日（火）

体験人数：64人

イ. 鈴鹿市立鈴峰中学校

実施期日：令和元年10月29日（火）

体験人数：30人

ウ. 御幸地区まちづくり協議会

実施期日：令和元年11月10日（日）

体験人数：59人

##### ② 各種イベント出展及び体験活動サポート以外の出前講座

ア. 春のわくわくふれあい祭り

実施期日：平成31年4月21日（日）

体験人数：172人

内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

イ. 秋のわくわくふれあい祭り

実施期日：令和元年9月28日（土）

体験人数：200人

内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

ウ. 四日市市少年自然の家オープンデー

実施期日：令和2年2月16日（日）

体験人数：70人

内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

#### 4 施設整備

独自整備分（250万円以上の修繕や長期整備で要望している整備の部分実施等）

- ①総合研修館棟エントランス屋根防水劣化箇所修繕
- ②大浴場給湯配管漏水修繕

#### 5 利用人数及び利用料収入

年度	利用人数			年度	利用人数			前年度比較
平成 三十年 度	施設利用人数			令和 元 年 度	施設利用人数			
	宿泊研修 (A)	延宿泊者数	31,467 人		宿泊研修 (A)	延宿泊者数	25,881 人	▲5,586 人
		日帰り等 <sup>※1</sup>	24,298 人			日帰り等 <sup>※1</sup>	24,555 人	257 人
		計	55,765 人			計	50,436 人	▲5,329 人
	一日研修(B)		18,473 人		一日研修(B)		15,491 人	▲2,982 人
	利用者数(A)+(B)		74,238 人		利用者数(A)+(B)		65,927 人	▲8,311 人
	項 目		利用料金		項 目		利用料金	
	宿泊料		41,245,280 円		宿泊料		30,975,172 円	▲10,270,108 円
	研修室利用料(宿 泊)		1,728,015 円		研修室利用料(宿 泊)		1,840,378 円	112,363 円
	研修室利用料(日帰り)		1,899,638 円		研修室利用料(日帰り)		1,808,390 円	▲91,248 円
設備器具利用料		566,300 円	設備器具利用料		680,500 円	114,200 円		
合 計		45,439,233 円	合 計		35,304,440 円	▲10,134,793 円		

※1 宿泊利用団体の最終日利用人数及び日帰り利用人数の合計

#### ◎施設利用増減説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、2月以降予約のキャンセルが多発し、宿泊研修・一日研修ともに利用者数が大きく減少した。その結果として施設利用料金は前年度より1千万円以上の減額になった。

## 令和元年度 鈴鹿青少年センター施設利用状況一覧表

月	開所日数	宿泊可能日数	利用日数	施設稼働率	利用団体数	延宿泊者数	宿泊利用率	延利用者数	施設利用率	内1日研修
4月	30	29	30	100.0	63	3,961	37.1	8,182	74.1	897
5月	31	29	27	87.1	72	2,854	26.7	6,134	53.8	886
6月	30	29	30	100.0	81	2,772	26.0	6,999	63.4	1,318
7月	31	28	30	96.8	112	4,103	39.8	9,039	79.2	863
8月	31	30	31	100.0	117	4,967	45.0	9,592	84.1	993
9月	29	26	27	93.1	76	1,935	20.2	5,268	49.4	1,136
10月	30	26	30	100.0	79	2,184	22.8	5,326	48.2	1,605
11月	29	26	25	86.2	60	920	9.6	5,760	54.0	2,444
12月	27	24	23	85.2	58	1,349	15.3	4,859	48.9	2,206
1月	27	16	23	85.2	56	524	8.9	2,317	23.3	1,295
2月	28	25	23	82.1	50	267	2.9	1,901	18.4	1,405
3月	30	29	15	50.0	28	45	0.4	550	5.0	443
合計	353	317	314	*	852	25,881	*	65,927	*	15,491
平均	29.4		26.2	92.9	71.0	2,156.8	22.2	5,494	50.2	1,290.9

令和元年度 鈴鹿青少年センター利用人数及び利用料金統計表

月	延利用人数	延宿泊人数	利 用 料 金								利用料金 合計
			施 設 利 用 料 金						設備器具		
			宿泊を伴う場合				宿 泊 を 伴 わ な い 場 合				
			宿泊利用	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室	総合研修館	大研修室		研修室・OR室 文化室 創作室	
4月	8,182	3,961	5,513,260	21,620	21,720	99,000	46,420	19,420	54,000	11,200	5,786,640
5月	6,134	2,854	3,501,510	32,220	24,740	29,700	24,414	25,530	55,090	27,000	3,720,204
6月	6,999	2,772	2,191,600	22,540	5,770	46,440	63,810	55,490	144,880	61,800	2,592,330
7月	9,039	4,103	3,843,830	49,680	59,930	205,920	28,670	11,090	78,090	143,600	4,420,810
8月	9,592	4,967	7,046,916	91,540	63,790	303,120	44,400	40,490	176,270	243,400	8,009,926
9月	5,268	1,935	2,241,680	54,280	39,320	63,360	58,460	8,310	81,370	104,000	2,650,780
10月	5,326	2,184	3,236,910	23,460	10,170	84,060	98,050	38,830	78,080	25,600	3,595,160
11月	5,760	920	1,096,534	7,360	14,020	32,220	68,450	16,630	72,600	9,000	1,316,814
12月	4,859	1,349	1,457,830	17,480	16,220	50,580	60,120	26,620	106,920	39,500	1,775,270
1月	2,317	524	546,640	9,200	12,650	66,240	53,650	41,600	73,330	11,000	814,310
2月	1,901	267	259,612	12,880	0	50,724	32,370	33,840	90,480	2,200	482,106
3月	550	45	38,850	3,220	9,900	0	42,520	12,750	30,650	2,200	140,090
合計	65,927	25,881	30,975,172	345,480	278,230	1,031,364	621,334	330,600	1,041,760	680,500	35,304,440

## スポーツマンハウス施設利用促進事業

### 令和元年度 スポーツマンハウス鈴鹿 事業報告

令和3年に本県で開催される、第76回国民体育大会（三重とこわか国体）、第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）へ向け、本協会が責任を持って全国から本県に集うトップアスリートへのおもてなしにあたるため、平成29年度までは民間事業者へ委託していた本施設の運営について、平成30年4月21日より本協会直営に転換した。

令和元年度は直営化して2年目となり、運営形態の変更に伴い一時混乱していた宿泊受け入れ業務についても一定の軌道に乗り、第1四半期（4～6月）における宿泊実績の対前年度比は、宿泊人数で約120～150%、売り上げで約135～165%と比較的好調に推移した。

第2四半期（7～9月）においては、前年度同期のインターハイ特需の反動により、対前年度比は、宿泊人数で約45～95%、売り上げで約40～80%という結果となった。

第3四半期（10～12月）においては、一部、台風等の影響もあったものの、対前年度比は、宿泊人数で約80～120%、売り上げで約90～135%であり、増減相半ばとなった。

第4四半期（1月～3月）においては、1月の英国パラ水泳ナショナルチーム長期合宿により、対前年度比が宿泊人数で約250%、売り上げで約380%という特需となったが、2月頃より徐々に新型コロナウイルス感染症の発生に伴う影響が出始め、3月にはほとんどの予約がキャンセルされるという事態に陥った。

#### 1 利用の拡大・促進の取組

リピーターの確保と新規利用者のアクセシビリティ拡大のため、利用者サービスの向上と利用促進活動に努めた。

##### (1) 利用促進活動

- ・スポーツ合宿利用の隙間を埋めるインターネット予約について柔軟に対応した。
- ・クレジットカード決済については、前年度に引き続き当面インターネット予約者に限って対応した。
- ・前年度に引き続き、インターネット利用者の声を含め、施設に寄せられる意見・苦情に対応した。
- ・オリパラ2020へ向けた事前合宿（英国パラ水泳ナショナルチーム、カナダ・アーティスティックスイミング）の招致に伴い、招致主体（三重県）や競技団体、支援事業者（旅行会社）等との調整を行ない、円滑な実施へ向けた支援体制を整えた。
- ・前年度の試行に引き続き、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（以下、「鈴鹿スポーツガーデン」という。）との連携により、最寄りのバス停留所である「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から鈴鹿スポーツガーデン敷地内へ、本協会独自の無料シャトルバスを本格運用し、利用者の利便性向上に努めた。

##### (2) 利用促進活動

- ・例年利用されるスポーツ団体等に対し、DM等により次年度利用を働きかけた。
- ・合宿、教育旅行等を取り扱う旅行者へのあっせん依頼を強化した。
- ・鈴鹿スポーツガーデンと連携し、同施設利用者に対する本施設のPRを行った。

- ・企業の福利厚生活動の一環として、各企業、団体の労働組合、互助会等と提携し、施設利用の拡大を図った。
- ・鈴鹿スポーツガーデンと連携して、FM三重でスポットCMを放送した。
- ・地元地域を中心としたフリーペーパーを活用したPRを行った。

## 2 諸会議の開催

職員間の情報共有と営業方針検討のための月例ミーティングの他、鈴鹿スポーツガーデン並びに食堂・清掃・施設管理等委託先事業者との打ち合わせを下記により実施した。

### (1) スポーツマンハウス鈴鹿月例ミーティング

原則として毎月第1月曜日午後、フロントスタッフ全員により、スケジュール、経営状況、販売促進方針、その他について意見交換し、共有するための月例ミーティングを開催した。

### (2) 鈴鹿スポーツガーデンとの打ち合わせ

両施設の販売促進のため、随時打ち合わせ（合宿パックの検討、施設と宿泊の予約コンフリクトの解消等）を実施した。

### (3) 食堂・清掃・施設管理等委託先事業者との打ち合わせ

利用者へのスムーズなサービス提供を目的に、随時打ち合わせを行なった。

### (4) 近隣地域関係者との意見交換会

鈴鹿スポーツガーデンを含めた利用促進等に関する意見交換を行った。

## 3 施設管理

### (1) 日常点検

良質・安全かつ清潔な施設提供のため、職員と施設管理委託先が協働して、日常の清掃・点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設・機器の使用中止の対応を取り、異常個所の点検と必要な修理を速やかに実施した。

### (2) 定期点検

専門事業者に委託し、定期的にエレベーター、温浴関係、空調関係の機器点検を行うと同時に、空気・水質等の環境点検を実施した。

### (3) 一斉点検日（休業日）の設定

温浴の浄化槽・配管等は、半年間に一度専門事業者の点検・清掃を実施した。また、宿泊棟・食堂棟の機器設備類については、温浴休業日と合わせて全館休業日とし、設備の集中点検を行った。

## 4 リスクマネジメント

### (1) 危機管理マニュアルの更新

既存の危機管理マニュアル（火災、地震、台風、不審者、個人情報漏えい、全国瞬時警報システム（J-ALERT）、弾道ミサイル発射時の対応等）に、感染症対策を加えるべく検討中。（令和2年度早期に完成予定）

### (2) 危機管理訓練

鈴鹿市消防本部と連携のうえ、消防連絡訓練を実施した。（2019年12月12日）

## 5 施設整備

営業開始後 10 年が経過し、改修・交換が必要な設備も増加してきており、優先順位を定めて施設・設備の更新を進めた。

### (1) 法的義務やメーカー推奨の機器交換サイクルを満たすための施設・設備更新

- ・エレベータープーリー交換 [1,068 千円]
- ・ガス供給設備（低圧遮断弁）更新 [575 千円]
- ・屋内消火栓ホース及び消火器更新 [331 千円]

### (2) 利用者の安全・安心に直結する設備・備品のリニューアル

- ・男子サウナ室改修 [880 千円]
- ・屋外看板更新 [286 千円]
- ・和室エアコン更新 [765 千円]

## 6 利用人数及び利用料収入

平成 30 年度は 4 月 21 日～3 月 31 日の実績、令和元年度は通年実績である。

### (1) 宿泊

区分		平成 30 年度	令和元年度	前年度比
宿泊 人 数	スポーツ	9,856 人	9,283 人	▲573 人
	一般	2,307 人	2,610 人	303 人
	インターネット	761 人	1,645 人	884 人
	計	12,924 人	13,538 人	614 人
売上高		63,214,180 円	66,792,662 円	3,578,482 円

### (2) 飲食

区分		平成 30 年度	令和元年度	前年度比
朝食	人数	10,449 人	10,233 人	▲216 人
	売上高	8,747,280 円	9,079,750 円	332,470 円
昼食	人数	11,153 人	10,390 人	▲763 人
	売上高	12,984,700 円	11,915,300 円	▲1,069,400 円
夕食	人数	8,725 人	9,304 人	579 人
	売上高	15,669,680 円	16,505,600 円	835,920 円
弁当	個数	3,755 人	8,324 個	4,569 個
	売上高	2,518,400 円	4,959,350 円	2,440,950 円
宴会	件数	351 人	202 人	▲149 人
	売上高	1,467,450 円	906,450 円	▲561,000 円
売上高計		41,387,510 円	43,366,450 円	1,978,940 円



### (3) 温浴

区分		平成30年度	令和元年度	前年度比
大人	人数	51,624人	56,833人	5,209人
	売上高	26,381,150円	29,119,750円	2,738,600円
小人	人数	5,655人	6,061人	406人
	売上高	1,614,900円	1,733,600円	118,700円
回数	人数	26,865人	29,777人	2,912人
	売上高	13,722,500円	15,378,000円	1,655,500円
その他	人数	2,885人	3,476人	591人
	売上高	1,616,590円	1,689,990円	73,400円
計	人数	87,029人	96,147人	9,118人
	売上高	43,335,140円	47,921,340円	4,586,200円

### (4) 会議室

区分	平成30年度	令和元年度	前年度比
件数	247件	226件	21件
売上高	2,131,800円	3,078,800円	947,000円

### (5) その他

区分	平成30年度	令和元年度	前年度比
売上高	4,628,373円	5,458,439円	830,066円

### (6) 総売上

区分	平成30年度	令和元年度	前年度比
売上高	154,697,003円	166,617,691円	11,920,688円

## 7 職員研修、その他

### (1) 就労環境の整備

月例ミーティング等における意見交換、シフト勤務の公平化等による職員の就労環境の整備に努めた。

### (2) 普通救命講習

緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行なえるよう、定期的に心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習修了書」の認定を受けている。

令和元年度 スポーツマンハウス鈴鹿施設利用状況一覧表

	宿泊施設 (人)	温浴施設 (人)	会議室 件数	食 事							宴会 人数
				レストラン(人)				計	弁 個数	宴 人数	
				朝食	昼食	夕食					
4月	1,731	8,403	22	1,136	1,061	1,011	3,208	1,774	27		
5月	1,212	8,243	18	733	980	639	2,352	359	44		
6月	960	7,250	30	868	918	829	2,615	613	15		
7月	1,111	7,292	22	475	825	690	1,990	647	0		
8月	2,209	8,341	24	1,579	950	1,631	4,160	2,034	67		
9月	350	6,942	13	284	808	239	1,331	182	0		
10月	906	7,112	9	228	832	86	1,146	77	0		
11月	1,081	7,912	23	641	764	659	2,064	539	0		
12月	1,773	9,402	15	1,431	1,145	1,679	4,255	582	0		
1月	1,089	9,619	22	919	1,140	895	2,954	657	0		
2月	952	8,754	20	840	821	812	2,473	703	49		
3月	164	6,877	8	53	146	134	333	157	0		
計	13,538	96,147	226	9,187	10,390	9,304	28,881	8,324	202		
平成30年度 計	12,924	87,029	247	10,449	11,533	8,725	30,707	3,755	351		
平成30年度 比較	614	9,118	△ 21	△ 1,262	△ 1,143	579	△ 1,826	4,569	△ 149		

## 松阪野球場施設利用促進事業

### 令和元年度 三重県営松阪野球場事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の初年度にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため、下記の諸事業を実施した。

#### 1 利用者の拡大・促進

##### (1) 利用者サービスの向上

- ① 各種大会の円滑な運営を支援するため、本来の開館時間前の開場(特別開場)を行うとともに、一般開放を可能な限り行えるよう、利用団体による利用調整会議を開催し、利用調整を図った。
- ② アンケートを実施し、施設運営や設備について意見集約を行った。その中で、速やかに対応できるものについては実行し、施設設備の改修など施設内で対応できない要望などについては、県へ報告し、情報の共有を行った。
- ③ 大会等のスムーズな運営を支援するため、大会規模に応じて利用時間を前倒し、あるいは日没まで時間延長を行った。また雨天順延による大会予備日などは休業日開場(特別開場)で対応を行った。
- ④ 良好な球場環境を保つため、独自財源を用いて、本部席の放送設備を更新、両ベンチ扉の蝶番調整及びドアクローザー交換を行うとともに、職員で外野後方のフェンス修理、グラウンドに発生した溝修復などを行い、より良い環境でプレー出来るよう、グラウンド整備を行った。
- ⑤ 中部台運動公園利用者への利便性の向上のため、野球場のトイレを休業日以外は常時開放した。
- ⑥ オンライン予約システムにより、県内外の球場利用者への利便を図った。

##### (2) 利用促進

- ① 平日の施設利用拡充のため、近隣中学校の放課後のクラブ活動(野球部)に対して、利用料と利用時間の便宜を図り、利用拡大に努めた。
- ② 野球場以外の球場利用拡大策として、「まつさかペットボトルロケット大会」の利用を認め、利用拡大に努めた。
- ③ 野球場の在り方について、県高野連や利用団体関係者と意見交換を行った。

##### (3) 広報活動

- ① 当野球場ホームページにより、オンラインでの予約や空き状況などの情報を発信した。利用者への広報活動の一つとして、パンフレットを窓口配布や利用料金精算時に利用者へ直接配布した。
- ② 毎月中旬に、翌月の利用予定を地元新聞社へ情報提供を行った。
- ③ 当野球場で行われた大会結果を野球場ホームページに掲載し、利用状況のPRに努めた。
- ④ 第5回スポーツレクリエーションフェスティバル2020 in 松阪野球場のPRのため、新聞折り込みチラシにより周知を図った。(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

## 2 主催事業

- ① 第5回県営松阪野球場杯松阪地区中学校野球選手権大会  
松阪地区管内中体連の協力を得て、第5回県営松阪野球場杯松阪地区中学校野球選手権大会を開催した。  
期 日：令和元年8月17日(土)・18日(日)・22日(木)  
参加者：松阪地区管内中学校野球部15校参加(780人)
- ② スポーツレクリエーションフェスティバル2020 in 松阪野球場  
県民・市民の皆さんに野球場を知ってもらおうと共に、子どもの体力増進と健康意識を高め、スポーツの楽しさを体験してもらうことを目的として開催を準備していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。  
期 日：令和2年3月8日(日)  
対 象：幼児から大人(家族)

## 3 施設管理・リスク対策

- (1) 中部台運動公園内に位置する当球場は、円滑な施設運営を行うため、同公園を管理する松阪市との連携が不可欠であり、常に公園全体の課題や日常業務の諸問題について、情報を共有し、安全な施設運営に取り組んだ。
- (2) 野球場を利用者する方々に良質な施設環境を提供するため、業務委託の業者点検への立ち会いと設備の定期点検をはじめ、職員の巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (3) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制の徹底を行った。
- (4) 設備の小修繕等については、地元のシルバー人材センターに登録している方々を活用し、雇用の促進と高齢者の活用を図った。
- (5) 昨今の天候急変による施設利用者の被害を未然に防止するため、特に夏季における雷注意報発令時については、利用団体への情報提供を速やかに行い、注意報発令時には施設内に退避を促すなど事故防止に努めた。また、冬季などには、気温低下による肉離れ等の事故・ケガ防止に努めるよう利用者へ注意喚起を行った。
- (6) 応急処置用の常備薬・救急用品の点検・不足品は補充を行った。
- (7) 経年によるグラウンド整備器具等の更新・補充を行った。

## 4 施設整備

- ・不陸修正(6月及び2月)の実施
- ・放送設備保守点検
- ・放送設備の更新(独自財源)
- ・スコアボード保守点検
- ・浄化槽・消防設備保守点検
- ・消防設備機器不良箇所等修理(独自財源)
- ・両ベンチドアの蝶番調整及びドアクローザー交換(独自財源)
- ・外周のフェンス修繕(職員対応)
- ・外野後方の側溝への落葉等落下防止用竹の設置(職員対応)
- ・ポンプ室の点検及び配管修理
- ・玄関天井の修復(独自財源)
- ・救護室へ防火タイプの衝立整備(独自財源)
- ・その他メインスタンドベンチの修理など

## 5 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		前年度比較	施設利用料収入	前年度比較
平成30年度	野球場	38,420人		1,332,660円	
	合計	38,420人		1,332,660円	
令和元年度	野球場	50,970人	12,550人	1,635,210円	302,550円
	合計	50,970人	12,550人	1,635,210円	302,550円

### ○ 施設利用者数・使用料の増減について

施設利用者数は、毎年、主催大会開催の有無や、高校野球(硬式)の対戦カードなどで入込者数が変動するが、令和元年度は、高校野球(硬式)の春夏秋の三大会全て決勝戦まで当球場で行われたため、新型コロナウイルス感染症の影響によるフェスタの開催中止や施設利用のキャンセルの影響を受けながらも、最終的に12,550人(うち、高校野球による増：15,560人)の大幅増となった。

また、施設利用料収入でも、入場料を徴収する高校野球(硬式)の利用回数、利用時間が増えたことで、302,550円(うち、高校野球による増：416,640円)の大幅増となった。

## 令和元年度三重県営松阪野球場利用一覧

三重県営松阪野球場		
月	利用人数	利用料金
4月	7,832人	298,890円
5月	2,171人	82,550円
6月	300人	19,840円
7月	22,890人	535,680円
8月	3,085人	91,940円
9月	7,520人	315,300円
10月	1,380人	15,580円
11月	1,480人	47,120円
12月	910人	49,080円
1月	1,760人	45,880円
2月	740人	44,060円
3月	902人	89,290円
年合計	50,970人	1,635,210円

特記1:施設の利用者数には減免利用者を含む